

令和3年度 栄区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書 番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	区役所運営事業	8,632	8,632	5,560	5,560	3,072	3,072
2	防災力向上事業	13,133	13,133	13,860	13,860	△ 727	△ 727
3	区政推進事業	24,432	23,752	25,520	24,795	△ 1,088	△ 1,043
4	広報・広聴事業	4,095	3,879	1,325	1,109	2,770	2,770
5	地域活動の推進・にぎわい振興事業	12,788	12,788	13,220	13,220	△ 432	△ 432
6	文化・芸術振興事業	4,721	4,621	5,431	5,286	△ 710	△ 665
7	スポーツ振興授業	3,480	3,480	3,180	3,180	300	300
8	地域の人材育成支援事業	3,558	3,558	3,713	3,713	△ 155	△ 155
9	福祉保健の推進	7,613	7,613	9,451	9,451	△ 1,838	△ 1,838
10	健康づくりと食育の推進事業	1,849	1,849	1,863	1,863	△ 14	△ 14
11	高齢者・障害者支援事業	14,431	6,356	15,220	7,145	△ 789	△ 789
12	健やか子育て応援事業	2,969	2,969	2,831	2,831	138	138
13	子ども・青少年応援事業	1,725	1,720	2,472	2,467	△ 747	△ 747

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[栄 区 総務 課]

No.	1
-----	---

予算区分	区役所総務費 区役所総務費 広聴広報相談費	性質・ 課題区分	区庁舎・区民利用施設環境改善 窓口サービス向上 広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	-----------------------------	-------------	-------------------------------------	--------	-------

事業名	区役所運営事業
-----	---------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	8,632					8,632
前年度	5,560					5,560
増△減	3,072	0	0	0	0	3,072

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	6,020	4,220	5,616
メリット+一般財源	6,020	4,220	5,616
決算	9,371	7,358	12,135
決算	9,371	7,358	12,135

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	8,632	8,632
一般財源	8,632	8,632

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	<p>区民に信頼される区役所づくりのため、職員の人材育成研修などの窓口サービス向上を目指す取組や、安全で快適な庁舎環境に向けた改修等を実施します。また、出生届及び婚姻届を提出するお客様に区からお祝いメッセージ入りの記念品を贈呈します。</p> <p>コンビニ交付サービス（セルフ手続き）の普及啓発及び庁舎本館1階待合スペース等の環境改善に取り組むことで、窓口混雑の緩和に向けた区民サービスの向上を進めます。</p> <p>区の統計データを掲載した冊子を作成し、区民に配布します。</p> <p>平成28年6月に公職選挙法の改正が行われ、選挙権年齢が18歳に引き下げられました。新たな有権者への選挙啓発に取り組むとともに、地域住民の協力を得ながら啓発を実施することで栄区の投票率向上を目指します。</p> <p>栄区ならではの税の啓発物を作成し、現在実施している小学6年生を対象とした税の出前授業などで活用し、栄区や税を身近に感じてもらい、税の使い道により関心を持ってもらうことを目指します。</p>
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>栄区では、自ら考え行動し、区民の皆さまの視点に立ったおもてなしの行政サービスを提供できる区役所づくりを目指しています。正確・迅速な事務処理と親切・丁寧な窓口の運営を行うために、継続的な意識改革や能力の向上を目指した人材育成の取組を進める必要があります。栄区では、お客様への対応マニュアルである「スマイルガイド」を作成し、お客様に信頼される、満足度の高い区役所を目指しています。出生届を提出するお客様に対してはお子様の健やかな成長を、婚姻届を提出するお客様に対しては末永く幸せな明るい家庭を築いていただけるようお願いを込めたメッセージ入りの記念品を贈呈し、心かよう区役所窓口づくりに努めていきます。</p> <p>コンビニ交付サービス（セルフ手続き）の普及啓発及び庁舎本館1階待合スペース等の環境改善に取り組むことで、窓口混雑の緩和に向けた区民サービスの向上を進めます。</p> <p>SAKAE 早わかりノートについては、施策検討や評価への活用のため、区の統計データをまとめ、見やすくわかりやすい資料により周知する必要があります。</p> <p>平成28年6月に公職選挙法の改正が行われ選挙権年齢が18歳に引き下げられましたが、10代20代の投票率は低い状況にあります。将来の有権者を含めた広報を行うことで、将来を見据えた啓発を目指します。</p> <p>栄区ならではの税の啓発物を作成し、現在実施している小学6年生を対象とした税の出前授業などで活用し、栄区や税を身近に感じてもらい、税の使い道により関心を持ってもらうことを目指します。</p>			
地域の課題等の収集手段	<table border="1"> <tr> <td>1 日常の窓口対応等</td> <td>6 区民要望</td> <td>7 関係団体からの要望</td> </tr> </table>	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望		
2 運営方針等との関係	III目標達成に向けた組織運営 正確・丁寧・親切			
3 根拠法令・要綱等	「横浜市区役所窓口サービス標準」「栄区政運営方針」「横浜市人材育成ビジョン」「栄区改革推進委員会設置要綱」			

【実績の推移・今後見込み】

	29年度	30年度	元年度	令和2年度見込み	令和3年度見込み
人材育成研修	満足度調査 100.0%	満足度調査 99.0%	満足度調査 98.0%	-	満足度調査 100.0%
改革推進委員会	2グループ に分かれて 活動 ・メンバー を中心とし た、区役所 活性化の活 動	2グループ に分かれて 活動 ・メンバー を中心とし た、区役所 活性化の活 動	2グループ に分かれて 活動 ・メンバー を中心とし た、区役所 活性化の活 動	2グループ に分かれて 活動 ・メンバー を中心とし た、区役所 活性化の活 動	2グループ に分かれて 活動 ・メンバー を中心とし た、区役所 活性化の活 動
庁舎改善	フロアレイ アウト変 更、その他 改修	フロアレイ アウト変 更、その他 改修	フロアレイ アウト変 更、その他 改修	フロアレイ アウト変 更、その他 改修	フロアレイ アウト変 更、その他 改修
SAKAE 早わかりノート	発行部数 2,500部	-	発行部数 2,000部	-	発行部数 2,000部(予定)
明るい選挙啓発事業	7月横浜市選 挙投票率 栄区全体: 42.05%(横浜 市全体: 37.21%) 栄区10代投票 率:32.71%、栄 区20代投票率 21.79%(横浜 市全体10代投 票率:29.36%) 10月衆議院選 挙投票率 栄区全体: 56.58%(横浜 市全体: 51.56%) 栄区10代投票 率:45.48%、栄 区20代投票率 33.29%(横浜 市全体10代投 票率:42.11%)	-	4月横浜市議 会議員選挙投票 率 栄区全体: 46.06%(横浜 市全体: 42.48%) 栄区10代投票 率:35.25%、 栄区20代投票 率:23.67%(横 浜市全体の年 代別投票率の データは未集 計) 7月参議院選挙 投票率 栄区全体: 52.84%(横浜 市全体: 49.7%) 栄区10代投票 率:38.26%、 栄区20代投票 率:32.47%(横 浜市全体の年 代別投票率の データは未集 計))	-	7月横浜市長 選挙 (任期满了年 月日:令和3 年8月29日) 10月衆議院 選挙 (任期满了年 月日:令和3 年10月21日)
栄区に提出された届 出件数の推移	出生届	766件	749件	683件	750件
	婚姻届	477件	414件	431件	450件
コンビニ交付による証明書取得率	2.4%	3.5%	4.4%	6.6%	10.4%
租税教育の充実事業	出前授業6回 総受講数291名	出前授業6回 総受講数289名	出前授業7回 総受講数252名	出前授業4回 (見込み) 総受講数137名 (見込み)	出前授業6回 (見込み) 総受講数300名 (見込み)

【実施内容】

- 1 栄区人材育成研修事業（1,121千円）
 職員の接遇力向上、人権意識の向上、区役所全体のチーム力向上を目的として、以下の研修を実施します。
 (1) 接遇研修
 窓口サービスにおける接遇について、これまで高い評価をいただいていることに感謝し、高齢者や障害者の方など、誰もが安心して来庁できる区役所を目指して、全職員を対象に研修を実施します。
 (2) 人権啓発研修
 ア 責任職・職員人権啓発研修
 「自分事」として問題を捉え、向き合い、考えることのできる職員の養成を目指し研修を実施します。
 責任職を対象として、全体研修およびテーマごとに人権問題を考えるグループ毎の指導者研修を実施します。
 また、テーマをもとに、全職員を対象とした研修を実施します。
 イ 講演会
 区民および職員を対象に、人権啓発講演会を実施します。
 (3) チーム力アップ研修
 新採用職員・中堅職員の意識高揚や職員全体のチーム力向上を目指して、施設見学等を中心とした研修を行います。
 (4) 職員向けスキルアップ研修
 変化するワークスタイルに合わせた職員としての能力開発に関する研修を実施します。
- 2 改革推進委員会（221千円）
 課を横断した委員会メンバーによって、職員満足度の向上や栄区の魅力発信に寄与する取組を行います。
- 3 庁舎改善事業（3,000千円）
 来庁者に安全に気持ちよく過ごしていただけるよう、安全性や利便性・快適性に配慮した庁舎改善を実施します。
- 4 出生・結婚おめでとうプレゼント（500千円）
 栄区役所に出生届を提出した方及び婚姻届を提出した方に、記念品にお祝いメッセージを添えて贈呈します。
 なお、これら記念品は区内の福祉施設への発注を予定しています。
- 5 窓口混雑緩和に向けた区民サービス向上事業（3,000千円）
 (1) コンビニ交付サービス普及啓発
 身近なコンビニエンスストア等で便利に住民票等証明書を取得できるコンビニ交付サービスを、より多くの区民の方にご利用いただけるよう普及啓発に取り組みます。
 (2) 待合スペース等環境改善
 マイナンバーカード関連の手続きで混雑している庁舎本館1階の待合スペース等の環境改善に取り組みます。
- 6 SAKAE 早わかりノート（460千円）
 内容：区の統計データを掲載した冊子を作成します。
 仕様（予定）：A4フルカラー 36ページ前後 2,000部
 令和4年3月発行予定
- 7 明るい選挙啓発事業（230千円）
 選挙啓発を目的とした区内小中高等学校への出前講座を開催するとともに、選挙啓発のための物品作成、配布を行います。
- 8 租税教育の充実事業（100千円）
 租税教育を目的とした区内小学校への出前講座を開催するとともに、税の啓発グッズを作成し、出前授業などで活用します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
栄区人材育成研修事業	1,121	1,389	△ 268	栄区リーダーズカレッジの終了による減
改革推進委員会	221	221	0	
庁舎改善事業	3,000	3,000	0	
出生・結婚おめでとうプレゼント	500	500	0	
窓口混雑緩和に向けた区民サービス向上事業	3,000	0	3,000	新規事業
SAKAE 早わかりノート	460	0	460	隔年発行による増
明るい選挙啓発事業	230	250	△ 20	実績に基づく減
租税教育の充実事業	100	200	△ 100	事業手法の見直しによる減
事業費合計	8,632	5,560	3,072	

【根拠とするデータ等】

窓口サービス満足度調査（人材育成研修事業）、戸籍事務取扱件数表（出生・結婚おめでとうプレゼント）、コンビニ交付統計（窓口混雑緩和に向けた区民サービス向上事業）

本資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	庶務係
	伊藤 ゆかり 齋藤 修身 佐藤 健也	高橋 豊子 川村 岳大 藤井 佳奈絵 吉田 丈博	高橋 由依

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成8年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	防災力向上事業
-----	---------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	13,133					13,133
前年度	13,860					13,860
増△減	△ 727	0	0	0	0	△ 727

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	7,008	6,210	6,849	予算	事業費	13,500	13,500
	メリット+一般財源	7,008	6,210	6,849		一般財源	13,500	13,500
決算	事業費	6,757	5,916	9,915	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	6,757	5,916	9,915	有:件名()、日付(年 月)			
				(無)				

事業の概要(目的)	風水害や地震などあらゆる災害に対して、予防的活動としての地域の自主防災活動支援、区災害対策本部の機能強化を図るとともに、発災時における迅速的確な応急対策により、防災力の向上に取り組めます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

近年の震災により、地震に対する防災意識は高まっていますが、避難所の開設や運営を想定した訓練の取り組みについては拠点ごとにはばらつきがあります。
また、近年では豪雨による各地の被害も増加していることから、水害対策マニュアルを運用し、より一層の体制強化について地域への浸透を進めていく必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	--------	-------------

2 運営方針等との関係 令和2年度栄区運営方針 防災力・減災力の強化

3 根拠法令・要綱等 災害対策基本法、横浜市危機管理指針

【実績の推移・今後見込み】

東日本大震災以降に高まった防災意識をさらに高め、今後発生が予想される地震、豪雨による河川の氾濫やがけ崩れなどの被害を最小限にとどめるための取り組みが必要です。
また、区内の避難勧告対象区域や浸水想定地域への説明及び避難所等の周知が引き続き必要となります。

【実施内容】

- 《水害対策事業》(8,713千円)
 - 河川及び崖地のハード・ソフト面の対策について、地域・関係機関で課題と対策を共有するための水害対策連絡協議会を開催します。
 - 水害等に対する意識の啓発を目的とした防災講演会等を実施します。
 - 広報よこはまをはじめ、様々な媒体を活用し、区民一人ひとりが水害への備えを高めるための啓発を行います。
 - 水害対策広報スピーカーの出力アップ及び増設等による整備、維持管理を行います。
 - 栄区避難所マップを更新し、区民を対象に配布を行います。
- 《震災対策事業》
 - 啓発・補助事業(320千円)
 - 区民の防災意識の一層の向上を図るため、啓発物品を配布します。
 - 転入した区民向けに防災マップを配布します。
 - 新任の自治会町内会長、防災担当者に対して栄区の防災の取組について周知し、意見交換会等を行います。
 - SC災害安全対策分科会(400千円)
 - 防災対策を通じた安全・安心のまちづくりのため、令和2年度に作成した防災ノートの更新や実践的な防災拠点訓練の推進など、災害安全対策分科会での活動を進めます。
 - 地域防災拠点支援事業(1,770千円)
 - 地域や関係機関と課題や対策を共有するため、地域防災拠点運営委員会連絡協議会を開催します。
 - 地域防災拠点の資機材点検や修理、感染症対策も踏まえた必要物品の購入等を行います。
 - 実際の避難所運営に生かせるように子どもや障害者に配慮した内容の出前講座等を行います。
- 《区本部機能強化事業》(1,930千円)
 - 災害時における区役所の機能強化のため、職員研修を行うとともに区本部用の計画的な備蓄を進めます。また、長時間の停電に備え、蓄電池とソーラーパネルを配備します。
 - 近年の豪雨災害や浸水ハザードマップ改訂を踏まえ、救助用ゴムボートを消防団に追加配備します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
水害対策事業	8,713	8,193	520	マップ改訂に伴う配布委託の増
震災対策事業	2,490	3,417	△ 927	看板メンテナンス完了に伴う委託費の減
区本部機能強化事業	1,930	2,250	△ 320	備品費の減
事業費合計	13,133	13,860	△ 727	

【根拠とするデータ等】

過年度の実績や在庫数量に基づき積算

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	伊藤 ゆかり	御所脇 佑介 山口 裕司	中山 智貴

(栄 区 - 2)

予算区分	街づくり推進費 街づくり推進費 地域コミュニティ費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	地域まちづくり 水・緑環境保全 地域コミュニティ 健康づくり	事業開始年度	平成17年度
------	--	-------------	---	--------	--------

事業名
区政推進事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	○
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
9	1
10	4
13	4
33	1

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本 年 度	24,432		680			23,752
前 年 度	25,520		725			24,795
増△減	△ 1,088	0	△ 45	0	0	△ 1,043

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算	事業費	22,934	26,756	25,226
	メリット+一般財源	22,704	26,494	24,613
決 算	事業費	23,679	25,075	20,368
	メリット+一般財源	22,770	23,895	19,692

歳出		令和4年度	令和5年度
予 算	事業費	25,782	24,432
	一般財源	25,102	23,752

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	<p>《栄区の魅力創出事業》 (タッチーくんの魅力発信事業) タッチーくんを栄区の魅力・イメージを発信するためのツールとして成長させるため、区外へのPRを重点的に行うとともに、区内企業・団体へのグッズ作成促進を図ることで、タッチーくんの知名度向上をめざします。</p> <p>(セカンドキャリア支援事業) 「区民力の発揮」を目的に、中高年層の区民のセカンドキャリア選択を支援します。</p> <p>《花と森と川のまち推進事業》 (花いっぱい魅力づくり) 花いっぱい基本構想に基づき、花を感じる空間づくり・人づくりを推進し、花のあるライフスタイルを広めます。 また、局や地域と連携した取り組みであるガーデンネックレス横浜の取り組みとして、栄区の玄関口である本郷台駅前の街路樹柵及び周辺の交通島における雑草を抑制し、花と緑で彩りを感じられる空間を整備します。</p> <p>(愛護会活動支援事業) 身近な公園や、いたち川を中心とした河川・水路の維持管理を行っている、公園愛護会・水辺愛護会の活動活性化を図るため、支援を行います。</p> <p>(さかえの食と農を育む事業) 地産地消を推進するため、食と農に対する区民の意識を高め、育む風土創りに取り組みます。</p> <p>(さかえ・森の魅力推進事業) 豊かな自然環境を守り育てるため、自然環境に対する関心を深める取組として、地域と連携し、水や緑の魅力を発信します。</p> <p>(温暖化対策事業) 地球温暖化対策を進めるため、子どもの頃から環境への意識を高めるための取組や、省エネ行動を促すための取組を行います。</p> <p>《セーフコミュニティ推進事業》 国際認証「セーフコミュニティ」の認証都市として、「致命的な事故やケガは原因を究明することで予防できる」という考え方の下、住民と行政、関係団体等が協働して、様々な予防活動を展開し、区民のすべてが健やかで元気に暮らすことができる安全・安心なまちづくりを進めます。</p> <p>《まちづくり推進事業》 (郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進) 高齢化の進む栄区東部の郊外住宅地を対象に、将来にわたって誰もがいきいきと暮らしやすいまちを目指し、地域の活力や環境などの向上につなげるために福祉、環境、都市基盤等の観点からまちづくりの検討を行います。</p> <p>(本郷台駅周辺のまちづくり推進) 栄区全体を”活気のあるまち”にしていくための取組の一環として、区の拠点である本郷台駅周辺地区の魅力あるまちづくりを進めていきます。</p>
---------------	--

(栄IC・JCT (仮称) 周辺のまちづくり)
横浜環状南線の栄IC・JCT (仮称) 周辺におけるまちづくりについて、地域と連携して検討を進めていきます。

(バス停留所上屋設置補助事業)
地域の重要な公共交通機関である路線バスの利用促進とそれによる維持の一環として、バス待ち環境を改善するためにバス停留所上屋設置費の一部を補助します。

(安心・安全な道づくり事業)
栄区と鎌倉市を結ぶ天園 (ハイキングコース) への玄関口の階段について、急な階段であるため手すりを整備し、利用者への安全と安心を向上させます。

(説明)

1 地域の課題等

《栄区の魅力創出事業》

(タッチーくんの魅力発信事業)

タッチーくんは区内で人気のキャラクターに成長しましたが、その範囲は栄区内にとどまっています。今後、タッチーくんを栄区の魅力発信ツールとしてより発展させていくために、区外への知名度向上を目指したPRに力点を置いた取組を進める必要があります。また、一部にとどまっている区内企業・団体へのグッズ作成について、促進するためのPRを行います。

(セカンドキャリア支援事業)

栄区は高齢化率が18区中最も高い区であることに加え、人口構成では40代が最も高く、次に50代の構成比率が高い区です。一方で栄区の労働力率は54.4%と本市平均60.6%を下回っており、中高年層に時間の自由度が高い区民が潜在していると推測されます。しかしながら、区民から各種ボランティアや地域活動の担い手不足の声が日常的に寄せられており、コミュニティ持続可能性の観点から、各種担い手の確保・育成が急務となっています。そのため、中高年層のセカンドキャリアを活かした地域での課題解決に寄与する機会を創出する必要がありますが、「栄区を中心とした地域を軸に当事者自身の意向を加味した情報を得られるサービス」が存在しない状況です。そこで中高年層のセカンドキャリア選択の支援を実施する必要があります。

《花と森と川のまち推進事業》

(花いっぱい魅力づくり)

平成27年度に取組を開始し、現在までに一定の浸透は認められますが、花いっぱいの取組を区内全体に広げるためには、区民(自治会・町内会、公園愛護会等のボランティア団体)との連携が不可欠であり、地域の身近な環境活動への参加を促進することが必要です。

(愛護会活動支援事業)

公園愛護会は、地元自治会・町内会を母体として結成している団体が多く、自治会ぐるみで熱心に活動している団体がある一方、多くの団体では高齢化や担い手不足といった課題があり、活動の継続が難しくなっています。

水辺愛護会は、制度の創設から20年が経過し、制度開始当初に結成された有志の活動メンバーを主力としている団体が多いため、高齢化が進んでおり担い手不足が深刻です。また、活動に対する地域の認識が低いことなどから、新たなメンバーの募集が困難で、活動の継続が難しくなり、活動内容を縮小する団体が出てきています。

(さかえの食と農を育む事業)

地産地消を普及啓発するためには、栄区の食と農の魅力を区民に知ってもらい、意識を高める取組を継続して行うことが必要です。

(さかえ・森の魅力推進事業)

栄区の魅力資源である豊かな自然の魅力を発信するには、区内の魅力資源を包括的に把握し、各地域で活動する団体や、関係部署との連携による総合的な取組が必要です。

(温暖化対策事業)

横浜市内では地球温暖化の主な要因であるCO2の排出量のうち、家庭からの排出量が占める割合が20%超えていることから、区民が家庭でできる省エネ行動の実践を促進することが必要です。

《セーフコミュニティ推進事業》

栄区は、平成25年10月に「セーフコミュニティ」の認証都市となり、平成30年10月には再認証を取得しました。これを機に、栄区の安全・安心都市としてのプロモーション活動を引き続き展開し、地域における継続した取組を進める必要があります。また、急激な高齢化の進行や、転倒・転落等による不慮の事故の増加等が課題となっています。また、令和元年度に実施した区民意識調査では、セーフコミュニティの認知度は37.9%となっており、認知度の向上が必要です。

《まちづくり推進事業》

(郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進)

上郷東地区は、少子高齢化の進行や交通不便、旧庄戸中学校後利用といった課題を抱えており、平成31年2月に課題解決に向けた助言が地域から提出されています。地域の方々が安心していきいきと、居心地良く住み続けることができる持続可能なまちづくりが求められています。

(本郷台駅周辺のまちづくり推進)

本郷台駅周辺単独のまちづくりにとどまらず、都市計画道路上郷公田線の整備等も踏まえつつ、郊外部で高齢化が進む栄区全体のまちづくりにおいて、区の玄関口であり拠点である当該地区の魅力向上が果たす役割や効果を視野に入れながら事業を進める必要があります。また、本郷台駅周辺の魅力向上のために、公開空地等のオープンスペースを活用したエリアマネジメントや本郷台駅周辺に多数存在する公共施設の再編整備も含めた将来的な空間形成のあり方検討等を推進する必要があります。

(栄IC・JCT (仮称) 周辺のまちづくり)

横浜環状南線の栄IC・JCT建設地周辺では、地元町内会を中心に、道路整備後のまちづくりについて強い要望があります。こうした地元動向に対し、地域とともに実現可能なまちづくりを検討することで、横浜環状南線の整備効果を地域活性化につなげていく必要があります。

(バス停留所上屋設置補助事業)

平成23年度から平成27年度までに行われた停留所上屋設置費補助事業では5箇所の補助を行いました。これらは、該当バス停のある地域の負担を前提とした要望により対象を選定しています。そのため、バス事業者は補助金等の支援がある箇所を優先して上屋設置していることもあり、利用者の多いと考えられるバス停においても、該当地域住民の利用者が少ない箇所については補助対象とされず、上屋が設置されていないこともあります。

(安心・安全な道づくり事業)

天園入口の階段については、劣化が進み景観上の問題及び手すりの整備がされておらず利用者から不安の声が上がっています。階段本体の補修については道路整備事業で令和2年度までに完了し、現在、手すりを段階的に整備しています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等	6 区民要望	7 関係団体からの要望	8 その他
-------------	------------	--------	-------------	-------

2 運営方針等との関係	令和2年度栄区運営方針 目標達成に向けた施策 1 未来へ向けたまちづくり 2 栄の魅力 向上と発信 3 福祉保健・セーフコミュニティの推進
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	栄区いち川マスコットタッチーくんデザイン利用許諾取扱要綱 栄区花いっぱい基本構想 横浜市公園愛護会事務取扱要綱、横浜市水辺愛護会設置要綱 横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例、さかえの食と農を育む事業補助金交付要綱 地球温暖化対策実行計画 栄区セーフコミュニティ推進協議会運営要綱 栄区傷害サーベイランス分科会運営要綱 都市計画法（横浜市都市計画マスタープラン）、本郷台駅周辺地区まちづくり構想、地域まちづくり推進条例、横浜市補助金等の交付に関する規則
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

《栄区の魅力創出事業》

(タッチーくんの魅力発信事業)

令和元年度	令和2年度見込み	令和3年度見込み
<タッチーくんの魅力発信事業> ・着ぐるみを活用したPR(通年) ・ツイッター等でタッチーくんから区の魅力発信(通年) ・デザイン利用の推進(通年) ・着ぐるみの新規作成(5月～3月) ・タッチーくんグッズの製作・販売(通年・販売実績440千円)	<タッチーくんの魅力発信事業> ・着ぐるみを活用したPR(通年) ・ゆるキャラグランプリに参加して区内外にタッチーくんの魅力発信(7～10月) ・ツイッター等でタッチーくんから区の魅力発信(通年) ・タッチーくんグッズの製作・販売(通年・販売実績300千円) ・デザインパターンの追加(10月)	<タッチーくんの魅力発信事業> ・着ぐるみを活用したPR(通年) ・ツイッター等でタッチーくんから区の魅力発信(通年) ・タッチーくんグッズの製作・販売(通年・販売実績440千円) ・区内企業・団体へのグッズ作成促進(通年)

(セカンドキャリア支援事業)

2年度見込み	3年度見込み
・中高年層の区民へのアンケート調査 ・ボランティア団体へのヒアリング調査	・ポータルサイト構築

《花と森と川のまち推進事業》

(花いっぱい魅力づくり事業)

年2回～3回程度、季節の花植え
里帰り桜復旧

(愛護会活動支援事業)

公園愛護会

【29年度】 愛護会団体数：102団体、活動回数：5,950回、参加者延べ人数：30,071人

【30年度】 愛護会団体数：103団体、活動回数：6,406回、参加者延べ人数：37,270人

【元年度】 愛護会団体数：101団体、活動回数：6,894回、参加者延べ人数：36,273人

水辺愛護会

水辺愛護会制度創設時である平成9年度に区内では3団体が発足し、以後、順次結成団体が増加し、現在は16団体と市内最大の結成数である。また、活動継続10年以上の永年表彰を受けた団体は13団体にもなるが、結成当時の活動メンバーを主力としている団体が多く、今後、団体参加者の増加は見込めない。

(さかえの食と農を育む事業)

	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
さかえの食と農を育む事業 (本郷台アオソラマルシェ)	来場者数(人)	5,500	4,000	5,000	中止 4,000

(さかえ・森の魅力づくり推進事業)

28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	令和元年度(実績)	2年度見込み	3年度見込み
MISIAの森プロジェクトにより、情報発信	・広報よこはま栄区版にて、横浜自然観察の森や市民の森についてPR ・区民まつりにてPR ・区内市民の森愛護会及び森づくりボランティア交流会	・区民まつり、各種イベント等で栄区の自然や森の魅力をPR ・竹の魅力発信 ・天園の案内板の検討・設置 ・各環境活動団体等の交流会の実施	・各種イベント等で栄区の自然や森の魅力をPR ・タウン誌による森の魅力PR ・各環境活動団体等の交流会の実施 ・フォトコンテストの実施 ・地域資源である竹のPR ・栄区の森MAP作成	・各種イベント等で栄区の自然や森の魅力をPR ・各環境活動団体等の交流会の実施 ・タウン誌による森の魅力PR ・広報よこはま栄区版にて、横浜自然観察の森や市民の森についてPR	・区民まつり、各種イベント等で栄区の自然や森の魅力をPR ・各環境活動団体等の交流会の実施 ・タウン誌による森の魅力PR

(温暖化対策事業)

		29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
親子の社会科見学	参加者数	28組63人	36組73人	37組80人	64組128人	60組120人
節電チャレンジ	参加世帯数	—	—	110世帯	50世帯	50世帯

※節電チャレンジは令和元年度より実施（チャレンジ期間：12月～1月）

《セーフコミュニティ推進事業》

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
推進協議会	1回	1回	1回	2回	1回	1回	1回
傷害サーベイランス分科会	2回	2回	2回	2回	2回	1回	2回
主な取組	年次報告 フォーラム	年次報告	再認証 事前指導	再認証 現地審査 認証式	年次報告 フォーラム	年次報告	年次報告 フォーラム

《まちづくり推進事業》

(郊外住宅地の持続可能なまちづくり推進)

28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込	令和2年度見込	3年度見込み
<ul style="list-style-type: none"> まちづくり協議会・分科会の実施 まちづくり構想策定 庄戸中みなで使おうPJ 	<ul style="list-style-type: none"> まちの再生・活性化委員会及び分科会の設立・実施 構想に基づく事業の推進 庄戸夏祭り出店 	<ul style="list-style-type: none"> まちの再生・活性化委員会及び分科会の実施 構想に基づく事業の推進 区長へ助言書の提出 	<ul style="list-style-type: none"> 助言を参考にした庁内調整の推進 サウンディング調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 旧庄戸中学校後利用に向けた庁内調整の推進 協定に基づく上郷ネオポリスのまちづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 旧庄戸中学校後利用の事業化に向けた庁内調整の推進 上郷ネオポリスのまちづくりの推進

(本郷台駅周辺のまちづくり推進)

26年度～30年度実績	令和元年度実績	2年度見込み	3年度見込み	4年度以降見込み
<ul style="list-style-type: none"> まちづくり懇談会(26年度) まちづくり構想策定(27年度) 駅前広場植栽整備(29年度) 駅前広場サイン等改修(30年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 本郷台駅周辺地区の魅力向上検討(ビジョンの策定) 本郷台駅周辺まちづくり検討庁内プロジェクト(公共施設再編整備検討等) 	<ul style="list-style-type: none"> 本郷台駅周辺地区の魅力向上検討(エリアマネジメント実施に向けた社会実験等のコーディネート等) 本郷台駅周辺まちづくり検討庁内プロジェクト(公共施設再編整備検討等) 	<ul style="list-style-type: none"> 本郷台駅周辺地区の魅力向上検討(エリアマネジメントの体制・仕組みづくり等) 本郷台駅周辺まちづくり検討庁内プロジェクト(公共施設再編整備計画の策定) 	<ul style="list-style-type: none"> エリアマネジメントの本格実施の支援(活動補助等) 公共施設再編整備等の推進

(栄IC・JCT(仮称)周辺のまちづくり)

29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
<ul style="list-style-type: none"> 勉強会 3回 検討委託 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換 2回 サウンディング調査に向けた検討 検討委託 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換 2回 庁内調整 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換 2回 庁内調整 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換 2回 庁内調整

(バス停留所上屋設置補助事業)

平成23～27年度実績	令和3年度見込み	4年度以降見込み
<ul style="list-style-type: none"> 補助要綱策定 上屋整備(5箇所) 	<ul style="list-style-type: none"> 補助要綱策定(変更) 上屋整備(1箇所) 	<ul style="list-style-type: none"> ニーズを踏まえた補助の継続

(安心・安全な道づくり事業)

20m/年の施工で3か年で完了(令和2年度から令和4年度)

【実施内容】

《栄区の魅力創出事業》

(タッチーくんの魅力発信事業) (1,520千円)

イベント等への参加や、SNS等の活用などで、区外へ向けてタッチーくんの積極的なPR活動を行います。

また、タッチーくんのデザインを広く活用してもらうため、区役所でのグッズ販売を継続するとともに、チラシ等を作成し、企業・団体に向けてPRします。

(セカンドキャリア支援事業) (4,778千円)

令和2年度に行った、区内における中高年層のニーズを把握するアンケート調査とボランティア団体等へのヒアリング調査の結果を踏まえ、必要な情報(地域活動団体の情報等)の検索が可能となるポータルサイトを構築します。

《花と森と川のまち推進事業》

(花いっぱい魅力づくり) (2,850千円)

区民が四季折々に咲く花の彩りを感じ、心豊かに生活できるように、自治会・町内会や公園愛護会等のボランティア団体と連携して、栄区全体で花を感じる空間づくりを進めるとともに、年に2～3回、区役所周辺、交通島、植栽柵に、季節にあわせた花植えを行います。また、オープンガーデンに関心のある区民が、オープンガーデンを実施しやすい環境づくりを行います。さらに、令和元年に発生した台風第15号の影響により倒木した里帰り桜を復旧します。

(愛護会活動支援事業) (1,165千円)

公園や水辺の日常管理を担っている公園愛護会や水辺愛護会は、高齢化による会員減少や担い手不足が課題となっています。しかしながら、地域において、これらの愛護会への認知度は十分ではありません。

そこで、愛護会の活動について多くの区民の理解を深め、参加の輪を広げていくため、日常の活動の機会等を活用したPRを行うほか、ガーデンネックレスの取組を継続する花壇の整備等の緑化活動を拡充し、地域の住民にみどりや潤いのある生活へ接する機会を増やすことで、新たな担い手の獲得を図ります。

また、様々なボランティア団体について、合同で愛護会のつどいを開催することで、特徴的な活動や類似の活動を行っている団体を知り、また、同じ地域で活動している公園、水辺、道路それぞれの愛護会等の交流を行うことで、新たな活動に対する手がかりを得る機会を増やし、愛護会活動への意欲や関心を高めます。

さらに、団体数の多い公園愛護会については、区制30周年を契機に創設した区長表彰制度を継続し、活動への意欲向上を図ります。

(さかえの食と農を育む事業) (1,220千円)

地域やJA、関連団体等と連携して、本郷台アオソラマルシェの開催や地産地消のPRを行います。

(さかえ・森の魅力づくり推進事業) (1,306千円)

環境活動団体等と連携し、栄区の豊かな自然環境を効果的に発信するとともに、環境活動団体等の交流会を実施します。

(温暖化対策事業) (370千円)

温暖化対策について、区民が楽しみながらエネルギーや省エネについて学べる啓発イベントを実施します。

(本郷台駅前上屋等の維持管理) (333千円)

本郷台駅前にあるバスターミナル上屋等について、定期点検等の維持管理を行います。

《セーフコミュニティ推進事業》《4,080千円》

各分科会の取組について、PDCAサイクルによる進捗管理を実践していくとともに、傷害サーベイランス分科会において関連データの収集・分析を行い、科学的根拠に基づく継続的な目標の見直し、取組の改善を行います。また、幅広い世代の方にセーフコミュニティを知る機会を設けるとともに、日頃の活動への感謝を表すため「さかえセーフコミュニティフォーラム」を開催します。認知度の向上を図るとともに、セーフコミュニティ活動への参加の輪を広げるためにプロモーションを展開します。

《まちづくり推進事業》

(郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進) (60千円)

旧庄戸中学校の後利用について、局が進める公募に向けた庁内調整を行います。また、上郷ネオポリス地区のまちづくりについて、令和元年度に大和ハウス工業(株)と横浜市で締結した協定に基づいて都市整備局と連携しながら検討を行います。

(本郷台駅周辺のまちづくり推進) (3,020千円)

本郷台駅前での民間事業者による開発にあわせ、駅前からいたち川にかけての魅力向上を図り、エリア全体の更なるまちづくりを推進するため、地区の魅力を向上させるエリアマネジメントの実現に向け、その体制や仕組みづくり等を推進します。また、将来的な公共施設の再編整備等を見据え、都市整備局等と連携しながら、望ましい空間形成の方向性を検討します。

(栄IC・JCT(仮称)周辺のまちづくり) (10千円)

横浜湘南道路や横浜環状南線に関連して整備される田谷線の開通時期を考慮し、地域の活性化に向け、地域の皆さまとの意見交換や関係部署との調整を行います。

(バス停留所上屋設置補助事業) (1,720千円)

路線バス利用者の利便性や快適性の向上のため、補助金の交付要綱を策定し、バス事業者への補助を行うことにより、バス停留所上屋の整備(1箇所)を行います。整備場所については、地域からの要望に限らず、利用者や各種団体からの要望等も踏まえながら選定します。

(安心・安全な道づくり事業) (1,000千円)

栄区と鎌倉市を結ぶ天園(ハイキングコース)への玄関口の階段について、急な階段であるため手すりを整備し、利用者への安全と安心を向上させます。

(区づくり連絡調整費) (1,000千円)

区内の主要事業を円滑に推進するため、関係機関や地元との連絡調整を行います。また、区民要望等に迅速に対応するために臨時的な事業を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
タッチーくんの魅力発信事業	1,520	1,150	370	グッズ作成費等の増
セカンドキャリア支援事業	4,778	2,300	2,478	ポータルサイト開設に伴う増
さんぼみちコミュニティカフェ事業	0	400	△ 400	事業終了
花いっぱい魅力づくり	2,850	1,760	1,090	里帰り桜復旧に係る費用の増
愛護会活動支援事業	1,165	1,400	△ 235	見学会の開催見送りによる減
さかえの食と農を育む事業	1,220	1,220	0	
さかえ・森の魅力づくり推進事業	1,306	1,302	4	実績による増等
温暖化対策事業	370	370	0	
本郷台駅前上屋等の維持管理	333	198	135	定期点検実施年による増
セーフコミュニティの取組推進	1,730	3,430	△ 1,700	SCアンケート隔年実施による減
セーフコミュニティフォーラムの開催	1,300	1,300	0	
セーフコミュニティプロモーション	1,050	1,500	△ 450	PR動画の作成終了による減
郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進	60	1,000	△ 940	庁内で調査・検討を実施することによる減
本郷台駅周辺のまちづくり推進	3,020	3,020	0	
栄IC・JCT（仮称）周辺のまちづくり	10	50	△ 40	既存消耗品活用による減
交通改善による温暖化対策実証事業	0	3,120	△ 3,120	事業終了
バス停留所上屋設置補助事業	1,720	0	1,720	新規事業
安心・安全な道づくり事業	1,000	1,000	0	
区づくり連絡調整費	1,000	1,000	0	
事業費合計	24,432	25,520	△ 1,088	

【根拠とするデータ等】

「栄区セーフコミュニティアンケート」結果（30年度）、「栄区民意識調査」調査結果（元年度）、救急搬送データ（元年）、人口動態統計（元年）、小中災害共済給付データ（元年度）

本資料は、公正・適正に作成しました	課長	区政推進課長	係長	企画調整係長	企画調整係
		永松 弘至		高木 達也	鋤柄 雅子

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[栄 区 区政推進 課]

No.	4
-----	---

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	---------	---------	-------	--------	-------

事業名	広報・広聴事業
-----	---------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,095		216			3,879
前年度	1,325		216			1,109
増△減	2,770	0	0	0	0	2,770

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	10,908	7,738	3,708	予算	事業費	925	4,095
	メリット+一般財源	10,192	7,088	3,708		一般財源	825	3,995
決算	事業費	10,452	7,062	3,425	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	9,782	6,322	3,232	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	<p>《広報事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄区を広くPRするため「栄区広報TV」の動画をホームページにて発信します。 ・栄区の最新情報を提供するため、ラジオ放送を行います。 ・区政に関わる情報を広く発信するために「区民生活マップ」を発行します。 <p>コミュニティーポールの維持管理を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区政運営のための施策等の検討にあたって、区民の生活に関する様々な意識を幅広く調査する必要があるため、区民意識調査を実施します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>《広報事業》</p> <p>(栄区広報TV PR事業) 映像を通じて、より栄区ならではの情報を発信していくことが求められます。</p> <p>(ラジオ放送事業) 災害時においても機能する放送媒体によって、防災、防犯の情報を発信していくことが求められます。</p> <p>(区民生活マップ発行事業) 最新の内容に更新しつつ、転入者にも利便性の高いマップを発行する必要があります。</p> <p>(コミュニティーポール維持管理事業) コミュニティーポールを安全に使用するため、定期的に点検を行う必要があります。</p> <p>(区民意識調査) 区民の基礎データを得るためには、様々な方に広くアンケート調査を行う必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	令和2年度栄区運営方針 目標達成に向けた施策 2 栄の魅力 向上と発信
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

《広報事業》					
	H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込	R3年度見込
区民生活マップ	18,000部	0部	10,000部	0部	10,000部
《広聴事業》					
	H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込	R3年度見込
区民意識調査	回答1393/実施3000	実施無	回答1398/実施3000	実施無	回答1500/対象3000

【実施内容】

≪広報事業≫

(栄区広報TV PR事業) (713千円)

放送した「栄区なう！TV+」の動画をホームページにアップすることで、ケーブルテレビに加入していない世帯や放送エリア外の世帯でも「栄区なう！TV+」を視聴できるようにします。

(ラジオ放送事業) (212千円)

栄区の情報をラジオ番組で毎日放送します。

(区民生活マップ発行事業) (1400千円)

行政機関等を記載した地図を転入者等を中心に配布します(地図面の刷新が必要なため、地図加工作業を含みます)。

(コミュニティーポール維持管理事業) (200千円)

駅前のコミュニティーポールの点検作業を行います。

(区民意識調査) (1,570千円)

栄区民が暮らしの中で感じる満足や不安、生活スタイル、地域のつながりなどの意識を把握するため、3,000人を対象にアンケート調査を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
栄区広報TV PR事業	713	713	0	
区民生活マップ作成事業	1,400	0	1,400	隔年実施による増
ラジオ放送事業	212	212	0	
栄区紹介パンフレット改訂	0	400	△ 400	パンフレット改訂終了に伴う減
コミュニティーポール維持管理事業	200	0	200	3年に一度実施することによる増
区民意識調査	1,570	0	1,570	隔年実施による増
事業費合計	4,095	1,325	2,770	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	広報相談 係
	永松 弘至	鈴木 恵美子	鈴木 優太

(栄 区 - 4)

[栄 区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費 防犯・防災・安全対策費 防犯・防災・安全対策費 地域コミュニティ費 区役所総務費 街づくり推進費	性質・ 課題区分	地域コミュニティ 防犯 交通安全 環境美化 その他 商店街振興	事業開始年度	平成6年度
------	---	-------------	--	--------	-------

事業名
地域活動の推進・にぎわい振興事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	1, 3, 6
12	1, 2
20	5
33	5

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本 年 度	12,788					12,788
前 年 度	13,220					13,220
増△減	△ 432	0	0	0	0	△ 432

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算	事業費	13,302	12,886	12,312
	メリット+一般財源	13,292	12,886	12,312
決 算	事業費	12,761	12,665	11,081
	メリット+一般財源	12,661	12,665	11,081

歳出		令和4年度	令和5年度
予 算	事業費	13,220	13,220
	一般財源	13,220	13,220
		方針に関する決裁 種別()	
		有:件名()、日付(年月)	
		無	

事業の概要 (目的)	<p>《交通安全・防犯各事業》 区民総ぐるみで、振り込め詐欺被害防止をはじめ、防犯活動や交通事故防止活動を区役所、消防、警察などの関連行政機関、地域と協力して実施します。</p> <p>《3R推進事業・生ごみ等堆肥化事業》 ごみ減量に向けて、各家庭の生ごみ等の堆肥化や食品ロスの削減の啓発など、更なる3Rを推進します。</p> <p>《自治会・町内会振興事業》 住民組織の代表である自治会・町内会長の日頃の活動に感謝の意を表する機会を創出します。各自治会・町内会へ区連会の回覧物・掲示物を配送し、情報共有を図ります。</p> <p>《栄区民まつり》 区民による、区民のための「まつり」を実施することにより、栄区の新たな歴史を積み重ねていくとともに郷土愛を育みます。</p> <p>《ほっとイルミネーション》 本郷駅前をイルミネーションで彩ることにより、周辺地域の活性化及び商店街のPR・振興を図ります。</p> <p>《商店街にぎわい創生事業》 商店街ににぎわいを創出するため、HPを通じた区内商店街の広報や商店街主催イベントの支援を実施します。</p>
---------------	---

(説 明)	
1 地域の課題等	<p>《SC交通安全対策分科会、スクールゾーン・自転車対策事業》 区民意識調査において交通安全対策に対する要望は高く、交通ルールの徹底やマナーの習得が求められています。一方、栄区内で発生する交通事故の傾向から、子どもと高齢者に対する啓発活動の重要性が高まっています。</p> <p>《SC防犯対策分科会》 栄区では振り込め詐欺等の事件が増加しており、区民意識調査の結果からも防犯対策に対して不安を持っている区民が多いことがうかがわれるため、地域、学校、各種団体などと行政が連携、協働し、犯罪に強く安全な街づくりを推進することが必要です。</p> <p>《3R推進事業、生ごみ等堆肥化事業》 横浜市における温室効果ガス排出量は、全国と比較して、家庭部門が占める割合が高くなっていることから、燃やすごみの多くを占める生ごみの削減など、更なる3R行動の実践が求められます。特に、燃やすごみに含まれている食品ロスについては、横浜市内で年間10万5千トンもの量が発生しており、大きな課題となっています。</p>

《自治会・町内会振興事業》
 住民組織の代表として地域の環境整備・福利厚生等に取り組み、地域社会の発展に大きく貢献している自治会・町内会長の日頃の活動への感謝の意を表する機会が必要です。
 住民組織の代表として活動している自治会・町内会の協力を得て、区役所や区内団体の情報を区民の方々に広く知らせることにより、行政情報等の共有を図るとともに、地域の一体感を深め地域の活性化を図る必要があります。

《栄区民まつり》
 高齢化社会の進行及び地域の近隣関係が希薄になるなか、栄区への愛着を深め、地域の活性化や世代間の交流を促す一環として、栄区民まつりを開催します。開催にあたり、区民ニーズに応え、多くの区民が楽しめるようにするためには、区民で組織する、栄区民まつり実行委員会への総合的な支援が必要です。

《ほっとイルミネーション》
 本郷台駅前広場では、冬季イベントが少ないことが課題となっているため、駅前をイルミネーションで彩る等のイベントを開催し、駅前の活性化を図ることが必要です。

《商店街にぎわい創生事業》
 商店の後継者不足、店主の高齢化が進む中、商店街主催でイベントを開催する等活動意欲を持つ担い手が減少し、商店街の知名度自体も低いため、にぎわいの低下が問題となっています。商店街のイベント企画等の支援、区商連HPを通じた発信を強化することにより、街のにぎわいを創出していく必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-----------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度区政運営方針 1 未来へ向けたまちづくり 2 栄の魅力 向上と発信
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	交通安全対策基本法、第10次横浜市交通安全計画、スクール・ゾーン推進組織助成金交付要綱、栄区自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金交付要綱、栄区セーフコミュニティ推進協議会設置要綱、横浜市栄区生ごみ処理器キエーロ購入補助金交付要綱、栄リユース食器利用促進補助事業補助金交付要綱、栄区自治会町内会長永年在職者表彰要綱、栄区民まつり補助金交付要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み	
各季の交通安全キャンペーン参加人数	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	(単位:人)
栄区ごみと資源の総量	28,912	28,162	28,202	27,131	-	(単位:ト)
リユース食器利用団体	3	2	3	2	2	(単位:団体数)
自治会・町内会長永年在職者表彰者数	4	5	6	7	12	(単位:人)
自治会・町内会長感謝会参加人数	75	73	-	75	75	(単位:人)
自治会・町内会への配送物	1,095	1,055	1,081	1,110	1,110	(単位:個)
栄区民まつり来場者数	50,000	50,000	50,000	中止	50,000	(単位:人)
ほっとイルミネーション来場者数	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	(単位:人)
商店街にぎわい創生事業	2	2	3	2	2	(単位:事業実施対象商店街数)

【実施内容】

《地域活動推進事業》
 (1) SC交通安全対策分科会 (934千円)
 栄区の交通安全に関する現状を把握し、分科会での課題に対する対策として、世代別の啓発活動を実施し、交通安全活動の一体的な取り組みを目指します。
 (2) スクールゾーン・自転車対策事業 (826千円)
 スクールゾーン対策協議会及び自転車等放置防止推進協議会への助成を行い、地域と協働した交通安全対策に取り組みます。
 (3) SC防犯対策分科会 (939千円)
 栄区の防犯対策に関する現状を把握し、分科会での課題に対する対策として、各種啓発活動を実施します。地域において防犯活動を行っている団体に対し、防犯グッズの配布等を通じて活動を支援します。
 また、新入学児童への防犯ブザーの配布や日々の防犯情報等のメール配信、街頭キャンペーンにより、防犯意識の啓発を行います。
 (4) 3R推進事業 (347千円)
 行政・地域・企業が一体となって「リデュース」に重点をおいた3R活動を推進します。(イベント等における3Rの普及啓発活動、リユース食器利用促進補助、使い切りクッキング教室の実施)
 (5) 生ごみ等堆肥化事業 (808千円)
 生ごみの堆肥化により家庭からのごみの排出量の削減につなげるため、令和2年9月に栄区独自の補助制度を開始した生ごみ処理器キエーロの普及・啓発ならびに補助制度活用に向けた取組を進めます。
 (6) 自治会・町内会振興事業 (1,773千円)
 地域社会の発展に貢献している自治会・町内会長に対し、感謝の意を表する催しを実施するとともに、永年在職者である自治会・町内会長を表彰します。
 また、自治会・町内会の協力を得て区民に行政情報等の周知・共有を図るため、各自治会・町内会へ回覧物・掲示物を配送します。

《にぎわい振興事業》
 (1) 栄区民まつり (4,950千円)
 栄区連合町内会をはじめ区内の各種団体により構成された栄区民まつり実行委員会に補助を行い、区民・地域が一体となって栄区民まつりを開催します。
 (2) ほっとイルミネーション (711千円)
 様々な団体と協力し、冬の本郷台駅前広場をイルミネーションで彩ります。
 (3) 商店街にぎわい創生事業 (1,500千円)
 区内商店街の知名度向上のため、商店街の位置や店舗を紹介するホームページのコンテンツを拡充します。また、区内商店街が実施するイベント等の実施を支援し、商店街の活性化につなげます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
S C交通安全対策分科会	934	924	10	令和元年度実績に基づく増
スクールゾーン・自転車対策事業	826	826	0	
S C防犯対策分科会	939	1,439	△ 500	令和元年度実績に基づく減
3 R推進事業	347	347	0	
生ごみ等堆肥化事業	808	744	64	補助対象件数の見直しによる増
自治会・町内会振興事業	1,773	1,760	13	配送単価の増
栄区民まつり	4,950	4,950	0	
ほっとイルミネーション	711	730	△ 19	元年度実績に基づく減
商店街にぎわい創生事業	1,500	1,500	0	
事業費合計	12,788	13,220	△ 432	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	根本 道夫	石塚 学	鵜池 健太郎

(栄 区 - 5)

(様式3-1) 令和3年度事業計画書【自主企画事業費】

[栄区 地域振興課]

No.	6
-----	---

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	文化・芸術振興事業
-----	-----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	5
主な施策番号	3.5.7

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,721		100			4,621
前年度	5,431		145			5,286
増△減	△710	0	△45	0	0	△665

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	4,507	5,607	6,277	予算	事業費	4,721	4,721
	メリット+一般財源	4,372	5,472	6,142		一般財源	4,621	4,621
決算	事業費	4,551	5,593	5,961	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	4,441	5,484	5,913	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・友好交流都市である長野県栄村、青森県南部町及び山形県高島町との交流事業を支援し、都市間交流の促進を図ります。 ・「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」及び「栄区読書活動推進目標」に基づき、栄区の地域性に応じた読書活動を推進し、区民の読書環境の充実を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

《友好交流都市事業》

友好交流都市が互いに持つ地域資源をいかし、交流をさらに活性化させ、栄区の魅力創出に繋がります。

《読書活動推進事業》

子供の読書量の低下、大人の活字離れが進んでおり、子供の読書習慣の定着等、読書活動の推進が必要です。また、栄区は書店が少なく交通不便という課題があり、図書館や図書貸出施設を中心とした読書環境・ネットワークの充実が求められています。

《文化・芸術振興関係事業》

人々の価値観が多様に変化する中で、これまで以上に生きがいや感動といった心の豊かさが求められています。人生を豊かにし、人々の創造性や感性を育むとともに、社会や経済に活力をもたらす源となる文化・芸術を振興することにより、人々に元気を与え、地域を活性化し、栄区の魅力あるまちづくりを推進していくことが必要です。

地域の課題等の収集手段

2 運営方針等との関係

令和2年度栄区運営方針 1 未来へ向けたまちづくり

3 根拠法令・要綱等

夏休みコンサート事業補助金交付要綱、栄区民芸術祭事業補助金交付要綱、横浜市民の読書活動の推進に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み	(単位:人)
友好交流都市	2,000	2,500	2,000	100	2,000	参加者+来場者
読書活動推進	110	360	170	170	170	読書イベント入場者
夏休みコンサート	1,000	1,000	1,000	100	1,000	参加者+来場者
夏休みコンサート	602	630	600	0	600	参加者+来場者
栄区民芸術祭	12,000	12,000	12,000	10,000	12,000	参加者+来場者

刊行物販売	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み
郷土史ハンドブック	107	124	100	150	100
歴史散策マップ	205	176	300	250	200
栄の歴史	114	110	150	150	100

【実施内容】

《友好交流都市事業》(900千円)

栄区の友好交流都市について区民に広く周知するため、PR物品を作成するとともに、友好交流都市の特徴を生かしたイベントを栄区内で実施することにより栄区民の交流への関心を高めます。

《栄の歴史・文化事業》（221千円）

栄区の歴史資産や文化資産を次世代に着実に引き継ぎ、区の魅力資源として活用・発信していくために、区内の関係団体とともに情報を共有し、今後の保存・継承につなげます。また、「郷土史ハンドブック・歴史散策マップ・栄の歴史」の販売に協力する書店等に販売手数料を交付します。そのほか、歴史パネルの一斉点検を実施し、保守計画を作成することで、劣化が進行している歴史パネルの安全性の確保及び安定的な管理を実施します。

《読書活動推進事業》（660千円）

「栄区読書活動推進目標」に掲げる、「誰もが読書情報を見られる」「読書したくなる環境がある」「読書ネットワークをつくる」を目指し、読書啓発イベントの開催、啓発物品の作成及び配布など、読書啓発事業を実施します。また、読書に親しむ環境づくりとして、図書館や図書貸出施設と連携した読書情報の提供、PRを行います。

《昼休みコンサート事業》（40千円）

区民が気軽に音楽に触れる機会を提供するとともに、区役所に親しみをもち、区行政や文化振興に興味を持っていただくことを目的に、栄区音楽協会の協力により庁舎内でコンサートを実施します。

《夏休みコンサート事業》（200千円）

夏休み期間に親子や家族など幅広い世代の区民を対象として、クラシック音楽に興味をもち、楽しんでいただけるような参加型のコンサートを開催します。

《栄区民芸術祭事業》（2,700千円）

区民の文化意識の高揚と文化活動及び地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、区民を中心に構成される栄区文化協会が中心となって企画運営を行う区民芸術祭を開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
友好交流都市事業	900	1,300	△ 400	事業内容見直しによる
栄の歴史・文化事業	221	381	△ 160	委託事業の内容変更による減
読書活動推進事業	660	610	50	過年度実績等による増
昼休みコンサート事業	40	40	0	
夏休みコンサート事業	200	200	0	
栄区民芸術祭事業	2,700	2,900	△ 200	実施内容見直しによる減
事業費合計	4,721	5,431	△ 710	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	生涯学習支援 係
	根本 道夫	細井沙友里	秋山 由貴

（様式3-1） 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[栄 区 地域振興 課]

No.	7
-----	---

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	スポーツ振興事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
7	1,2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,480					3,480
前年度	3,180					3,180
増△減	300	0	0	0	0	300

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	2,783	2,378	3,380
メリット+一般財源	2,783	2,378	3,380
決算	2,762	2,834	3,366
決算	2,762	2,834	3,366

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	3,180	3,180
一般財源	3,180	3,180

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動促進及び健康維持・増進を図るため、栄区民を対象としたスポーツ事業を支援します。 ・セーフコミュニティ都市として、課題解決に向けた先導的な事業に取り組みます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

・スポーツ振興を図る上では、地域における生涯スポーツの中心的な担い手である体育協会の専門部による日常的な生涯スポーツ振興の活動を支援することが必要です。また、これらの担い手と協働し、より多くの区民がスポーツを始めるためのきっかけづくりやスポーツを継続して行うための環境づくりなどに取り組む必要があります。

・栄区が認証取得している「セーフコミュニティ」の取組の一分野として、スポーツにおける事故やけがを予防する具体的な対策を地域と協働して検討していく必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係

・令和2年度栄区運営方針
 1 未来へ向けたまちづくり
 ・栄区セーフコミュニティ活動を推進するための行動計画

3 根拠法令・要綱等

スポーツ基本法、スポーツ基本計画、栄区体育協会補助金交付要綱、栄区民ロードレース大会事業補助金交付要綱、栄区民スポーツフェスティバル補助金交付要綱、スポーツ安全対策分科会運営要綱

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	31年度実績	和2年度見込	和3年度見込
栄区体育協会に対する活動補助事業（参加人数：人）	21,269	14,506	16,000	16,000	16,000
栄区民ロードレース大会（参加人数：人）	1,404	1,329	1,294	中止	1,400
栄区民スポーツフェスティバル（参加人数：人）	800	1,000	1,000	中止	1,500
S Cスポーツ安全対策分科会（開催回数：回）	3	2	1	2	3

【実施内容】

《栄区体育協会に対する活動補助事業》(315千円)
 各種スポーツ種目の団体（専門部）ごとに開催される区民大会や区民教室等の開催を支援します。
 専門部 20団体

《栄区民ロードレース大会》(2,170千円)
 栄区内在住、在勤、在学、在スポーツクラブの者を対象に、4種類（小学生、中学生以上、高校生以上、シニア）のコースを設定したロードレースを行います。
 日程：令和4年1月（予定）
 場所：埋蔵文化財センター及び周辺道路（予定）

《栄区民スポーツフェスティバル》（115千円）

幼児から高齢者まで幅広い区民が気軽にスポーツを体験できるイベントの開催を支援します。

日程：令和3年11月（予定）

場所：栄スポーツセンター、本郷中学校

《SCスポーツ安全対策分科会》（880千円）

運動競技中の事故やけがを予防するため、区内スポーツ、青少年育成等の団体を構成員とした分科会を開催し、事故・けが予防の対策として、予防講習会（各構成団体主催、分科会主催）を実施します。

また、専門家によるスポーツ活動時のけが発生の因果関係の分析結果や、事業内容へのアドバイスを基に、事業を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
栄区体育協会に対する活動補助事業	315	315	0	
栄区民ロードレース大会	2,170	1,970	200	感染症対策に伴う委託費（補助金）の増
栄区民スポーツフェスティバル	115	115	0	
SCスポーツ安全対策分科会	880	780	100	印刷物新規作成による増
事業費合計	3,480	3,180	300	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しまし	課長	係長	生涯学習支援 係
	根本 道夫	細井 沙友里	小方 優作

(栄 区 - 7)

[栄 区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費 地域コミュニティ費 子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	国際交流 地域コミュニティ 青少年健全育成	事業開始年度	平成10年度
------	--	---------	-----------------------------	--------	--------

事業名
地域の人材育成支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
6	2,3
33	1,2
29	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,558					3,558
前年度	3,713					3,713
増△減	△ 155	0	0	0	0	△ 155

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	5,587	8,510	4,860	予算	事業費	3,558	3,558
	メリット+一般財源	5,587	8,510	4,860		一般財源	3,558	3,558
決算	事業費	5,517	8,203	3,342	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	5,517	8,203	3,342				

事業の概要(目的)	<ul style="list-style-type: none"> 区民の力を活用した「おもてなし」を実践します。 区民活動センターを中心に、区内で活動している地域活動・生涯学習活動団体を支援するとともに、新たな活動の担い手を発掘します。 地域、団体等と連携・協働しながら、青少年の健全育成を目的に、各種事業を実施します。
-----------	---

(説明)					
1 地域の課題等	<p>《栄区ならではのおもてなし推進事業》 近年、外国人の定住化が進むとともに、2021年に開催されるオリンピック・パラリンピック（以下、オリパラという。）に向けて、来浜する外国人の増加が見込まれています。 栄区では、区の長所である区民の力、連携力を活用した外国の方向けの「おもてなし」を実施するで、オリパラの機運醸成を図るとともに区民の地域活動の活性化を促進する仕組みを作ることが重要です。 《区民活動支援事業》 栄区では、幅広い世代の区民が地域において熱心に活動を行っており、自主的な市民活動が活発な地域です。多様な区民ニーズに対応するためには、行政のみならず区民との協働による課題解決が必要です。このため、様々な分野で活動する区民活動団体の活性化や継続的な団体運営を推進するための人材育成や団体支援等が求められています。 《SAKAEヤングフェスティバル事業・栄区中学校対校駅伝大会》 昨今、少子化や地域のつながりの希薄化などによる社会環境の変化に伴い、青少年の自己肯定感が低くなっています。青少年が社会の一員として地域と主体的に関わりながら生活していくことができるよう、青少年による地域参加の機会を行政と地域が一体となって提供することが求められています。</p>				
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望		
2 運営方針等との関係	令和2年度区政運営方針 1 未来へ向けたまちづくり				
3 根拠法令・要綱等	<ul style="list-style-type: none"> 第3次横浜生涯学習基本構想、市民協働条例、市民活動支援センター地域レベル展開ガイドライン、市民活動支援センター事業展開ガイドライン SAKAEヤングフェスティバル事業補助金交付要綱 栄区中学校対校駅伝大会事業補助金交付要綱 				

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
さかえ区民活動センター利用者	23,248人	19,407人	18,905人	20,000人	13,000人
SAKAEヤングフェスティバル&栄区中学校対校駅伝大会来場者	約10,000人	約10,000人	開催中止	約10,000人	約10,000人

【実施内容】

《栄区ならではのおもてなし推進事業》(1,010千円)
平成30年度から取り組んでいる「栄区ならではのおもてなし」を、2021年開催のオリンピック・パラリンピックを契機に横浜を訪れる外国からのお客様や在住の方向けに実践します。また、これまで積み重ねてきたスキルを2021年以降も発展させ、担い手のすそ野を広げるため、外国の方へのおもてなしや多文化共生に関する講座等を実施します。

《区民活動支援事業》（728千円）

令和3年12月（予定）に移転及び事業の外部委託化を行います。

(1) 区民活動センター広報紙の発行

さかえ区民活動センターの広報紙「ぷらっと通信」を4,500部/回、6回発行します。

(2) パワーアップ講座の開催

ア 団体支援講座・・・主に登録団体を対象とした課題解決のための講座

イ 地域デビュー講座・・・これから活動を始めようとする人のきっかけづくりとなる講座

(3) ぷらっとカフェ事業

区民活動センターの認知度を上げ、地域活動や生涯学習活動を活性化するために、「ぷらっと栄」を拠点とした催しを年間を通じ定期的に開催します。

(4) サロン事業の実施

各種団体や区内施設と連携してサロンや講座を開催します。

《SAKAEヤングフェスティバル事業》（1,420千円）

区内中学生が青少年指導員とともに企画から準備し、中学生自身の演出によるステージ（吹奏楽、ダンス等）や模擬店等フェスティバル全体の運営を担い実施します。（実施時期：令和4年3月）

《栄区中学校対校駅伝大会》（400千円）

区内公私立中学校7校による学校対抗駅伝大会を、駅前道路を使用して実施します。（実施時期：令和4年3月）
なお、ヤングフェスティバルと中学校対校駅伝大会は、「中学生が主役の一日」として一体的に実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
栄区ならではのおもてなし推進事業	1,010	1,010	0	
区民活動支援事業	728	893	△ 165	委託化による減
SAKAEヤングフェスティバル事業	1,420	1,410	10	従事職員の早朝出勤の増
栄区中学校対校駅伝大会	400	400	0	
事業費合計	3,558	3,713	△ 155	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	根本 道夫	細井 沙友里	奥寺 玲

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費 区役所総務費	性質・ 課題区分	その他福祉・保健・衛生 動物愛護・適正飼育 その他	事業開始年度	平成6年度
------	----------------------------------	-------------	---------------------------------	--------	-------

事業名
福祉保健の推進

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	1
15	2
15	4
18	5
32	1
32	2
32	4
33	1
35	6

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,613					7,613
前年度	9,451					9,451
増△減	△ 1,838	0	0	0	0	△ 1,838

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算	事業費	5,377	4,536	11,362
	メリット+一般財源	5,377	4,536	11,362
決算	事業費	4,073	4,026	9,550
	メリット+一般財源	4,073	4,026	9,550

歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	7,700	7,700
	一般財源	7,700	7,700

方針に関する決裁 種別()
有:件名 ()、日付 (年 月)
無

事業の概要 (目的)	<p>1 地域福祉保健計画推進事業 誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、地域住民、各種団体、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザが協働して、福祉保健を中心とした地域課題の解決に取り組み、栄区地域福祉保健計画の推進を図ります。また、新型コロナウイルスの影響でスケジュールを変更した第4期計画（令和3年度～7年度）を策定します。</p> <p>2 「健康長寿さ・か・え」推進事業 健康寿命の延伸を図ることを目指し、「体力をつける（運動）」、「積極的な社会参加をする（社会参加）」、「低栄養を予防する（栄養）」の3つの視点からの取組を実施します。取組の推進にあたっては、地域が主体的に取り組むことができる仕組みづくりの支援を行います。</p> <p>3 災害時の対策 (1) 栄区防災計画に基づき、災害時に要援護者への安否確認・避難誘導が円滑に実施されるよう、地域福祉保健計画の推進を通して、日頃からの要援護者と地域との顔の見える関係づくりを支援します。 (2) 災害時において、関係機関（医師会、薬剤師会、歯科医師会、Yナース）の取組情報共有、連携を図り、災害時も区民へ医療が提供できるように取組を進めます。</p> <p>4 SC自殺予防対策分科会 セーフコミュニティ活動の一環として、栄区の自殺予防対策について検討・推進します。</p> <p>5 生活支援推進事業 (1) 生活困窮者を早期発見・支援するために、生活困窮セーフティネット強化事業を展開していきます。 (2) 生活保護受給者や生活困窮者の社会的自立を促進していくために、再チャレンジ応援事業を実施します。</p> <p>6 健康で安全な食と暮らしの推進 区民の健康で安全な食と暮らしを推進していくため、食中毒予防や衛生害虫対策、ペットの適正飼育・防災対策の啓発、地域猫活動の推進を実施します。</p>
---------------	--

(説 明)					
1	地域の課題等				
1	地域福祉保健計画推進事業	<p>これまで取り組んできた活動の目的、進め方を改めて確認し、第4期栄区地域福祉保健計画を策定し進めます。感染症対策をしながら、今後も継続する課題や顕在化が予想される課題に対して、取り組むべき内容、取り組むスタイルを第4期計画としてまとめ、地域で共有していきます。</p>			
2	「健康長寿さ・か・え」推進事業	<p>(1) 栄区は令和2年3月現在、高齢化率が31.0%と18区で最も高く、今後も人口減少・高齢化が進行し、2025年には高齢化率が32.7%まで上昇すると予測されています。</p> <p>(2) 一方で、栄区は、人口に対する要介護認定者の割合は16.3%（令和2年3月）と18区で一番低く、元気な高齢者が多いと言えます。上記のように、今後も上昇し続ける高齢化率に対して、できるだけ長く元気に暮らしていただく、つまり、健康寿命をできるだけ長く伸ばしていくことが、区の大きな課題です。</p> <p>(3) 最近の研究で、健康寿命を延ばさせるためには、「体力維持」と「社会参加」のほかに、十分な栄養をとり、虚弱化を先送りすることが有効ということがわかっていますが、「虚弱予防」という視点からの取組はあまりされていません。</p>			
3	災害時の対策	<p>(1) 住民の高齢化、近隣関係の希薄化が進む中、日頃からの見守り・支え合いの取組の充実が災害時にも役立ち、災害時を想定した活動が日頃の地域のつながりにもなるという両面を意識して、地域の取組を進めていく必要があります。</p> <p>(2) 発災時は、医療提供者も被災者となる中で、各団体の組織の中で、初期対応から継続対応ができるように調整が必要です。災害拠点病院が区内に無いことから、近隣区の拠点病院と連携を図る必要があります。</p>			
4	SC自殺予防対策分科会	<p>(1) 栄区の自殺死亡者数は増減を繰り返しながらも減少傾向にあります。しかし、1年間に20人（平成30年）の方が自殺により死亡しています。自殺による死亡者の減少のための自殺予防策の検討、悩みを抱えながら生きる方への相談支援について検討します。</p> <p>(2) 平成30年度に策定された「横浜市自殺対策計画」の方針に基づいて、区でも検討します。</p>			
5	生活支援推進事業	<p>(1) 生活困窮者を広く発見し早期に支援につなげるために、生活困窮者自立支援制度の周知を継続するとともに、地域による支援を充実させるために地域ケアプラザ等の関係機関との連携を継続・強化していく必要があります。アウトリーチパートナー研修については、基礎的な内容については一定程度定着が進んでいることから、今後は、より内容を深めた研修を実施していく必要があります。自炊力アップ事業（自炊体験教室）については、ケアプラザにおいて、実施ノウハウが蓄積されつつあることから、ケアプラザでの自主事業化や参加者の自主グループ化に向けた働きかけを行っていく必要があります。</p> <p>(2) 生活保護受給者や生活困窮者の多くは、就職に向けての情報が無い・準備の仕方がわからない・面接のノウハウがないなど様々な課題を抱えています。就労意欲を高めるとともに就職に向けての就職事情を把握し心構えや履歴書の書き方、面接スキル等を取得していく必要があり、対象者のニーズに対応した手法を検討する必要があります。</p>			
6	健康で安全な食と暮らしの推進	<p>(1) 衛生害虫等に関する相談が多く寄せられていることから、正確でわかりやすい情報や啓発が必要です。</p> <p>(2) 食の安全に関する区民の関心は高く、正確な情報を迅速に提供する必要があります。またボランティア給食従事者、保育園・幼稚園の保護者には食中毒防止について支援や啓発を行う必要があります。新しい生活様式として、テイクアウトやデリバリーを行う飲食店等に対し、適時に情報を提供し、食中毒事故防止をする必要があります。</p> <p>(3) 飼い犬や飼い主のいない猫について、相談、苦情が多く寄せられています。</p> <p>(4) 地域防災拠点におけるペット同行避難時の管理体制や飼育方法について、各地域防災拠点での検討を重ねていくことが重要です。</p>			
地域	地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	4 地区懇談会	7 関係団体からの要望
2	運営方針等との関係	<p>令和2年度栄区運営方針 II 目標達成に向けた施策 施策3 福祉保健・セーフコミュニティの推進 施策4 防災力・減災力の強化</p>			
3	根拠法令・要綱等	<p>社会福祉法第107条、栄区地域福祉保健計画策定・推進会議運営要綱、自殺対策基本法、自殺総合対策大綱、栄区セーフコミュニティ推進協議会自殺予防対策分科会運営要綱、災害対策基本法、栄区災害時要援護者支援事業補助金交付要綱、生活保護法第4条及び第60条、就労可能な被保護者の就労及び求職状況の把握について（厚労省社会・援護局長通知）、「福祉から就労」支援事業の実施について（厚労省雇用均等・児童家庭・社会・援護局長連名通知）、平成17年度における自立支援プログラムの基本方針について（厚労省社会・援護局長通知）、生活困窮者自立支援法 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、食品衛生法、動物の愛護及び管理に関する法律、横浜市動物の愛護及び管理に関する法律</p>			

【実績の推移・今後見込み】

		28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
地域福祉保健計画推進	地域福祉保健計画	第3期推進	第3期推進	第3期推進	第3期推進 第4期策定	第3期推進 第4期策定	第4期策定 第4期推進
	計画策定・推進・評価・検討	・行動計画策定 ・単年度評価の実施	・行動計画策定 ・中間評価方法検討 ・単年度評価の実施	・行動計画策定 ・中間振り返り ・単年度評価の実施	・行動計画策定 ・単年度評価の実施 ・ニーズ、課題把握 ・第4期骨子作成	・第3期計画評価の実施 ・第4期計画骨子 ・第4期計画策定	・4期計画案策定 ・4期計画策定 ・計画周知 ・単年度評価
	推進会議／部会の開催回数	1 / 0	1 / 3	2 / 1	3 / 0	2 / 0	2 / 0
	広報周知・フォーラム開催	・第3期計画冊子等 ・広報よこはま区版 ・地区別計画報告会	・第3期計画等増刊 ・つながる通信 ・さかえ・つながるフォーラム	・つながる通信 ・さかえ・つながるフォーラム	・つながる通信 ・さかえ・つながるフォーラム ・第4期計画方針	・つながる通信 ・さかえ・つながるフォーラム ・第4期計画骨子	・つながる通信 ・さかえ・つながるフォーラム ・パンフレット作成
「健康長寿さ・か・え」推進事業	啓発事業	—	検討	ロゴ作成 啓発物品配布 講演会	取組ツールの作成 健康状態実態調査の実施	応援ノート 活用促進	応援ノート 活用促進
	地域の取組推進	—	検討	講演会 研修会	講演会 地区での取組実施	健康実態調査結果を活用した取組	既存の活動を活かした取組推進
災害時の対策	栄区災害時要援護者支援事業 補助金交付団体数	4団体	4団体	7団体	7団体	15団体	10団体
	災害時要援護者支援 説明会開催数・参加者数	7回 350人	10回 440人	7回 300人	6回 260人	10回 400人	10回 400人
SC自殺予防分科会	SC分科会開催数	2回	2回	2回	2回	2回	2回
	再認証関連	—	事前指導	現地審査 認証式	—	—	—
生活支援推進事業	自炊力アップ事業（炊事体験教室）参加者	6人	11人（2回）	16人（2回）	21人（2回）	15人（2回）	—
	アウトリーチパートナー研修参加者	—	34人（1回）	346人（8回）	97人（5回）	70人（5回）	40人（2回）
	就労支援セミナー参加者	36人（8回）	26人（8回）	31人（8回）	31人（6回）	15人（2回）	—
健康で安全な食と暮らしの推進	食品衛生出張講座開催数	18	23	19	15	15	15
	猫苦情等受付件数	95	106	94	72	70	70
	犬苦情等受付件数	67	56	44	51	50	50

【実施内容】

1 地域福祉保健計画推進事業 【3,838千円】

高齢者、障害者、子どもをはじめ、みんなが地域で支え合い暮らせるよう、地域、機関等と連携しながら栄区地域福祉保健計画の取組を推進していきます。新型コロナウイルスの影響でスケジュールを変更した第4期計画を策定します。

(1) 会議開催（180千円）

栄区地域福祉保健計画策定・推進会議 2回

(2) 計画の推進（1,826千円）

ア 第4期地域福祉保健計画発表のためのフォーラムの開催

イ 地区支援チーム員の地域支援スキルアップのための研修の実施

ウ 計画の推進や啓発として、「つながる通信」の発行

エ 地域福祉保健計画の地域での取組の拠点となる地域ケアプラザについて掲載した広報用パンフレットの作成

オ 地域福祉保健計画の推進を図るため、計画に沿った活動や取組に対しての経費の一部を補助

(3) 第4期計画策定（1,832千円）

栄区地域福祉保健計画策定・推進会議や地域での会議などを通じて広く区民の意見を聞きながら、第4期計画を策定します。

2 「健康長寿さ・か・え」推進事業 【580千円】

(1) 令和2年度に健康状態実態調査の調査結果報告会と地域別の測定会を実施した経過を踏まえ、継続して地域と協力しながら、健康寿命延伸に向けた啓発を行います。

(2) 健康寿命延伸に向けた取組の啓発を区民まつり等イベントを通じて実施します。

3 災害時の対策【940千円】

(1) 災害時要援護者支援事業（650千円）

ア 各自治会・町内会の状況に応じた講座・相談対応等を行い、取組の広がりを推進します。

イ 区域全体に取組の必要性や理解が広がるよう、啓発のための講演会を実施します。

ウ 自治会・町内会が実施する避難支援訓練等の経費の一部を補助します。

(2) 災害時医療体制強化事業（290千円）

ア 災害時医療連絡会

区内関係機関との発災時における医療連携体制を強化するため、情報共有等を目的とした連絡会を実施します。

イ 災害時医療体制整備

(7) 発災時における情報を集約するため、関係区局、機関とのメール及び通信機器による通信訓練や、医療機関の開設状況に関するのぼり旗掲出訓練を開催します。

(4) 医療調整班、医療救護隊及び保健活動グループにおいて、発災時を想定した研修を実施します。

(9) 災害時において医療活動を行うための資器材を整備します。

- 4 SC自殺予防対策分科会【127千円】
年度内に2回程度開催し、栄区内の自殺の現状や、各機関の取組について情報共有するとともに、自殺予防の検討をします。また、市の自殺対策計画に基づいて取組の検討を行います。
- 5 生活支援推進事業【477千円】
- (1) 生活困窮セーフティネット強化事業（177千円）
民生委員、地域ケアプラザ、福祉関係団体等のアウトリーチパートナーが制度内容をより理解し、生活困窮者を早期に発見し、地域で支援していけるようにするための外部講師による研修（年2回）を実施します。
- (2) 再チャレンジ応援事業（300千円）
生活保護受給者や生活困窮者に対し、就労意欲を高めるとともに心構えを含め就職に向けて準備すること等をまとめた就労支援テキストを作成し配布します。あわせて、スーツ等面接に必要なツールを随時貸し出します。
- 6 健康で安全な食と暮らしの推進【1,651千円】
- (1) 生活衛生普及啓発事業（50千円）
平成30年度から3年間実施した蚊の対策事業の結果をまとめ、他の地域でも蚊の対策が取り組みやすくなるよう、わかりやすいチラシの作成を行い、支援・啓発を行います。
- (2) 食品衛生普及啓発事業（300千円）
高齢者や子ども等へ食事を提供しているボランティア団体に対し、出張講座の実施や簡易検査キットを利用した衛生教育を行います。
また、テイクアウトやデリバリーを行う飲食店に対し適時に食品衛生に関する情報提供を行います。
- (3) 動物適正飼育推進事業（801千円）
講演会による飼い犬や猫の適正飼育啓発を実施するとともに、犬を長年にわたり飼育してきた飼い主を表彰し、他の飼い主の模範とすることにより広く動物愛護の意識を醸成します。
また、マナーアップの啓発や防犯など地域の見守りを併せて行う飼い主を募集し犬との散歩の時間を活用した啓発を行います。
飼い主がいない猫に関わる地域の問題を減少させるため、地域猫活動の支援をします。
- (4) ペット防災対策事業（500千円）
希望する地域防災拠点にペット同行避難用テントを配付することにより、地域防災拠点におけるペット同行避難者の受け入れ体制の整備を促進します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
会議開催	180	235	△ 55	開催回数の減
計画の推進	1,826	598	1,228	補助金の創設による増
第4期計画策定	1,832	2,283	△ 451	コンサル委託料の減
「健康長寿さ・か・え」推進事業	580	1,951	△ 1,371	講演会の終了による減
災害時要援護者支援事業	650	850	△ 200	補助金の減
災害時医療体制強化事業	290	335	△ 45	研修方法の見直しによる減
SC自殺予防対策分科会	127	127	0	
生活困窮セーフティネット強化事業	177	330	△ 153	外部講師による研修数減
再チャレンジ応援事業	300	304	△ 4	就労支援セミナーからテキスト作成への変更による減
相談業務向上事業	0	350	△ 350	廃止
生活衛生普及啓発事業	50	305	△ 255	医薬材料費の減
食品衛生普及啓発事業	300	200	100	施設への通知回数の変更による増
動物適正飼育推進事業	801	1,103	△ 302	必要物品の精査による減
ペット防災対策事業	500	480	20	地域防災拠点への配布数の増
事業費合計	7,613	9,451	△ 1,838	

【根拠とするデータ等】

栄区セーフコミュニティアンケート（30年度）、栄区民意識調査（平成29年度）、栄区民アンケート（26年度）、平成30年中の人口動態と平成31年1月1日現在の年齢別人口、大都市比較統計年表（平成29年度）、栄区民の健康状態実態調査（令和元年度）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	福祉保健課長 角田 恭子 生活衛生課長 渡邊 勝廣 生活支援課長 村山 一郎	運営企画係長 野本 智英 事業企画担当係長 大野 和義 生活衛生係長 渡辺 美波 事務係長 鶴岡 慎二郎	

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	-------	--------	-------

事業名	健康づくりと食育の推進事業
-----	---------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,849					1,849
前年度	1,863					1,863
増△減	△ 14	0	0	0	0	△ 14

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	2,140	2,535	2,525	予	事業費	1,849	1,849
算	メリット+一般財源	2,140	2,535	2,525	算	一般財源	1,849	1,849
決	事業費	1,902	2,355	2,315	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	1,902	2,355	2,315	有:件名()、日付(年月)			

無

事業の概要(目的)	運動や食育などの健康づくり意識の向上、特定健診やがん検診の受診率向上により、生活習慣病の予防に取り組み、区民の健康寿命が延伸することを目的とします。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>・健康寿命の延伸に向けて、運動や食生活などの健康増進の基本となる様々な分野から取り組み、早いうちからの生活習慣改善と生活習慣病の予防が重要ですが、健康に興味を持つものの取組までに至らないことが多いことが課題です。</p> <p>・食生活では、働き・子育て世代において、野菜摂取量が少ない、3食バランスよく食べることへの関心が低い、朝食の欠食率が高いなどの課題があります。また、高齢者は3食とれていても主菜の欠食などで低栄養の傾向があるなどの課題があります。</p> <p>・平成30年人口動態統計によると、区民の死亡総数に占める死因の構成比は生活習慣病が約半数を占めており、その早期発見のため、特定健診の受診率向上が課題となっています。</p> <p>・女性区民の悪性新生物による死亡の第3位は乳がん、第7位は子宮がんとなっています。女性のがん検診の受診者の増が課題となっています。</p>		
----------	--	--	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	8 その他
-------------	------------	-----------	-------

2 運営方針等との関係	令和2年度栄区運営方針 II 目標達成に向けた主な施策 施策3 福祉保健・セーフコミュニティの推進
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

横浜市乳がん検診、子宮がん検診の受診率

		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度(見込)
乳がん	栄区	18.7%	17.5%	17.3%	17.5%	15.8%	15.0%
	横浜市	23.1%	21.6%	20.8%	20.0%	17.9%	17.5%
子宮がん	栄区	20.9%	19.6%	19.4%	18.9%	18.5%	18.0%
	横浜市	28.8%	26.3%	27.3%	27.1%	25.6%	25.0%

※乳がん検診の対象者は40歳以上、子宮がん検診の対象者は20歳以上

横浜市特定健診の受診率

		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度(目標値)	令和3年度(目標値)
特定健診	栄区	22.3%	21.3%	23.0%	24.9%	26.5%	27.0%	28.0%
	横浜市	21.9%	21.0%	23.0%	24.2%	25.1%	33.0%	35.5%

【実施内容】

1 健康づくりの推進 804千円

(1) がん対策推進事業 (228千円)

横浜市がん検診受診率が低く、女性区民の悪性新生物による死亡の第3位(女性特有のがんでは1位)の乳がん、子宮がんをはじめ、がん検診受診者の増、特に女性のがんの受診者の増を狙い、がんによる死亡数の減少を目指します。

ア 3歳児健診(月2回)の際に、乳がん触診モデルを活用したセルフチェック(自己触診)等の啓発や、リーフレット等を活用した啓発を行います。また、子育て世代である幼稚園保育園の保護者等に積極的に周知します。

<参加予定人数と回数> 3歳児健診: 月2回、計1,000人

イ 子育て支援拠点、地域ケアプラザ、区役所窓口等で乳がん触診モデルと乳がんチェックシート、子宮がん検診チラシを活用して普及啓発を行います。

ウ 区役所で実施するがん検診等の待合で、上映ツールを利用して、健診の必要性について視聴覚教材で周知します。

エ 区民まつりや地域等からの健康講座依頼時において、乳がん触診モデルを活用したセルフチェック(自己触診)等の啓発や、リーフレット等を活用した啓発を行います。

オ 9月のがん征圧月間、3月の女性の健康週間において、図書館や区役所でパネル展示等を行います。

カ 女性特有のがんや、がん検診に関する正しい知識の普及のため、啓発を行います。また、関係機関とも連携し、普及啓発を実施します。

(2) 特定健診受診率向上 (140千円)

生活習慣病の予防として重要なメタボリックシンドロームの早期発見のため、関係機関と連携して特定健診受診率の向上を図り、生活習慣病の予防や重症化予防、死亡率の減少を目指します。(保険年金課と共管)

ア 関係機関(地域ケアプラザ)等において、引き続き、わかりやすい周知を行います。

イ 身近な場所、機会を利用し、健診の継続的な受診と活用について、啓発用物品を活用した普及啓発を行います。

(3) みんなで健康づくり推進事業 (436千円)

地域での健康づくりの機運を高めるために、関係機関や団体等と連携し、区民が参加しやすい区民まつりなどを活用して、健康づくり月間イベント等を行い、区民の幅広い世代に健康づくりについての普及啓発を図ります。

2 食育の推進 1,045千円

成人期で課題としている野菜摂取量の向上や朝食欠食率の改善、高齢期で課題としている低栄養を予防するために重要なバランスの良い食生活への改善など、食育の推進について、地域で活動する人材(食生活等改善推進員など)と連携して行います。また、子どもの時から生活習慣病になりにくいからだづくりを目指し、幼児期を含めた子どものバランスの良い食生活の定着を図ります。

(1) さかえの野菜めしあがれ! (45千円)

「さかえの野菜めしあがれ!」冊子及びシニア向け版冊子を、子どもから高齢者層に講座等を通じて配布し、啓発を行います。また、食生活等改善推進員(ヘルスメイト)等と協働し啓発活動を行います。食育リーフレット「さかえの野菜を知って食べて元気に!」による啓発、栄区産野菜を使った給食の実施等も食育啓発として行います。

(2) 元気なさかえっ子食育講座 (451千円)

食生活は、心身を育む上で不可欠な生活習慣であり、子どもの時の食生活は成人期以降の食生活や生活習慣病の発症リスクにも影響を与えます。そのため、幼児期からバランスの良い食生活の定着と、養育者の食生活の改善を図ります。

ア 幼児期からバランスの良い食生活を意識づけするため、オリジナルテキストを活用して、3歳児健診会場にて講師(管理栄養士)による講座を開催します。

<講座参加予定人数と回数> 3歳児健診: 月2回、幼児本人と養育者 計900組

イ 保育園等に向けて、オリジナルテキストを活用した講座等を実施します。

(3) 成人期の食育推進 (549千円)

成人期の食事バランスの見直しについて食生活の改善を促すため、栄養士を講師とした講座等を地域で開催し、啓発します。また、地域で活動する人材(食生活等改善推進員など)とも連携して地域活動でも食事見直しシートやマグネットを活用し、食育について周知を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
がん対策推進事業	228	228	0	
特定健診受診率向上	140	220	△ 80	啓発リーフレット印刷数見直しによる減
みんなで健康づくり推進事業	436	436	0	
さかえの野菜めしあがれ!	45	245	△ 200	シニア版印刷終了による減
元気なさかえっ子食育講座	451	515	△ 64	料理カード印刷終了による減
成人期の食育推進	549	219	330	食事見直しシートマグネット版印刷による増
事業費合計	1,849	1,863	△ 14	

【根拠とするデータ等】

・平成30年度行政区別(受診者居住別) 受診者数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	角田 恭子 福 渉一	窪田 陽子 後藤 雄一郎	長谷川 麻里子

[栄 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費 防犯・防災・安全対策費	性質・ 課題区分	高齢者 障害児・者 防災	事業開始年度	平成7年度
------	---------------------------------------	-------------	--------------------	--------	-------

事業名
高齢者・障害者支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	4,5
16	1,4
35	6

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本 年 度	14,431	0	8,075			6,356
前 年 度	15,220	0	8,075			7,145
増△減	△ 789	0	0	0	0	△ 789

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算	事業費	13,981	14,926	15,180
	メリット+一般財源	5,934	7,159	7,567
決 算	事業費	13,146	15,208	14,595
	メリット+一般財源	5,280	7,254	6,418

歳出		令和4年度	令和5年度
予 算	事業費	14,431	14,431
	一般財源	6,356	6,356

方針に関する決裁 種別()
無

事業の概要 (目的)	<p>【次世代交流ステーション】 地域子育て支援拠点「にこりんく」、栄区青少年の地域活動拠点「フレンズ☆SAKAE」、放課後等デイサービス事業「びっころんど」、サポートセンター径相談支援室、後見的支援室「とんぼ」の適切な運営管理を行います。</p> <p>【福祉避難所開設・運営円滑化事業】 発災時の福祉避難所の開設・運営にあたり区と福祉避難所等の連携を図り、また、課題の抽出・解決に向けた取組等の訓練や意見交換を行い、福祉避難所の運営を円滑に行うことを目的とします。</p> <p>【敬老お祝い事業】 各自治会町内会や介護保険施設と連携し、高齢者の長寿を祝う気持ちを地域・施設とともに伝えていきます。</p> <p>【栄区高齢者地域ケア事業】 [家族のための介護カウンセリング事業] 家族が認知症や難病に罹患し、介護の不安を受け止めきれない介護者に対し、臨床心理士によるカウンセリングやアドバイスを実施し、介護者が不安や過度な負担から解放されることを目指します。</p> <p>[セーフコミュニティ(SC) 高齢者安全対策分科会] 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活が長く続けられるよう、安全・安心なまちづくりに向け、各種取組を推進します。とりわけ、高齢者の事故の約75%を占める「高齢者の転倒・転落」及び重症度の高い「ヒートショック」について、広く区民に危険性の周知・啓発を行うとともに、予防対策を講じてまいります。</p> <p>【障害児・者ふれあい交流事業】 障害児・者が地域でいきいきと安心して暮らせるように、区民や関係機関と行事等を通じて交流を図り、障害児・者の理解を進めることを目的とします。</p>
---------------	---

(説 明)	
1 地域の課題等	<p>【次世代交流ステーション】 ・次世代交流ステーションの各施設について、引き続き連携を図り、地域に根差した活動や利用者同士の交流が望まれます。</p> <p>【福祉避難所開設・運営円滑化事業】 ・東日本大震災及び熊本地震等の教訓を踏まえ、福祉避難所を円滑に開設・運営していくための訓練が重要です。 ・福祉避難所の開設・運営等に関しては依然として課題が多く、他市町村（特に被災地）にある施設の情報を共有したり、現場に即した意見交換などを通して、各施設の準備や取組につなげていくことが必要です。</p> <p>【栄区高齢者地域ケア事業】 ・認知症や難病の方等を介護する家族は、心身の疲弊や社会からの孤立等相当の介護負担を抱えていることから、不適切な介護に陥りやすく、虐待のリスクも高くなります。そのため、介護の不安や負担感等を受け止めることにより日頃の心理的負担を軽減するような取組が必要です。 ・高齢になると身体機能の低下や認知症などにより様々な事故に遭うリスクが増加します。とりわけ高齢者の事故の約75%を占める転倒事故については高齢者の危険を脅かす大きな事由であることから、予防策について取組の推進が必要です。また、冬場の入浴事故については、重症度が高く、年間数件の死亡事故が報告されています。入浴事故の予防策を広く区民に周知し入浴事故を減らしていくための取組が必要です。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「新しい生活様式」を取り入れたオンラインによる研修や運動を継続できる取組の定着が必要です。</p> <p>【障害児・者ふれあい交流事業】 ・「パラフェスタ♥さかえ」を、障害者週間（12月上旬）PRのための区のイベントと位置づけ、区地域福祉保健計画のテーマ6「障害者が安心して暮らせる地域づくり」に向けて、引き続き普及啓発の取組が必要です。</p>

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望		
2 運営方針等との関係	区政運営方針 施策3 福祉保健・セーフコミュニティの推進 施策4 防災力・減災力の強化				
3 根拠法令・要綱等	介護保険法、老人福祉法、社会福祉法、高齢者虐待の防止・高齢者の要援護者に対する支援等に関する法律、災害対策基本法、横浜市震災対策条例、横浜市防災計画（震災対策編）、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期）、第3期横浜市障害者プラン、第3期栄区地域福祉計画、横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた栄区行動指針、栄区セーフコミュニティ推進協議会運営要綱、栄区傷害サーベイランス分科会運営要綱				
【実績の推移・今後見込み】					
4 栄区高齢者地域ケア事業					
(1) 家族のための介護カウンセリング事業					
	年度	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込
	実施回数	17	16	18	18
(2) S C高齢者安全対策分科会					
ア 転倒・転落予防対策（転倒予防体操に取り組んだ人の数）					
	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込	
	16,336	16,412	8,000	16,000	
イ ヒートショック予防対策（ヒートショック対策をしている人の割合）					
	30年度	元年度	2年度見込	3年度見込	
	90%	86%	90%	90%	
ウ S C高齢者安全対策分科会（実務者会議を含む）開催回数					
	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込	
	5	3	2	2	
5 障害児・者ふれあい交流事業					
(1) パラフェスタ♥さかえ					
	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込	
	開催日数	4日間	1日間	1日間	2日間
	来場者	1,000人	350人	60人	1,000人
【実施内容】					
1 次世代交流ステーション (10,826千円)					
次世代交流ステーションの管理運営費を支出します。					
2 福祉避難所開設・運営円滑化事業 (810千円)					
区と各福祉避難所が連携して、連絡会や開設・運営等訓練を実施します。また、開設・運営等訓練に係る物品を配布します。					
3 敬老お祝い事業 (301千円)					
各地域で開催している敬老会等でお祝いの対象としている高齢者に対して、長寿をお祝いするメッセージカードをお配りできるよう、各自治会町内会等にカードを配付します。また、100歳に到達する方に長寿と誕生日を祝うカードを送ります。併せて、介護保険施設に区長が訪問し、100歳以上の高齢者の長寿をお祝いするとともに、各施設職員の日頃の労をねぎらいます。					
4 栄区高齢者地域ケア事業 (450千円)					
(1) 家族のための介護カウンセリング事業 (450千円)					
ア 内容					
認知症や難病等、要介護者を介護している家族に対し、臨床心理士が介護不安を解消するための専門相談を実施します。					
イ 対象者					
おおむね65歳以上で、現に介護をされており、不安や心配がある区民					
ウ 実施回数					
18回／年実施					
エ 実施会場					
区役所（オンラインによる面談併用）					
(2) S C高齢者安全対策分科会 (389千円)					
ア 高齢者の転倒・転落予防について、リーフレットや動画を活用し、転倒予防体操の普及啓発を行います。支援者向けの転倒予防講座をオンラインも併用して実施し、身近な地域へ普及を推進します。					
イ 冬場の入浴事故防止対策（ヒートショック予防）の啓発を行い、不慮の溺死・溺水事故を予防します。リーフレットやポスター等を使用しきめ細かく、効果的な啓発を行います。					
ウ 高齢者安全対策分科会					
分科会を開催し、セーフコミュニティの「高齢者安全対策」の推進を図ります。					
5 障害児・者ふれあい交流事業 (1,095千円)					
(1) パラフェスタ♥さかえ (1,095千円)					
区民が、障害者と対等の立場で障害者への理解と共感を深めるため、障害の有無に関わらずその場にいる人々が交流し、障害児・者が積極的な参加と自己表現ができるようなイベントを、関係機関と協働して開催します。					
(2) 栄区障害理解推進事業 (560千円)					
区内障害福祉事業所による花のデリバリー委託を拡充し、区役所窓口環境の向上を図るとともに、障害理解推進と障害者の社会参加とを区障害者自立支援協議会と協働して取り組みます。					

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
次世代交流ステーション	10,826	10,911	△ 85	実績に基づく減
福祉避難所開設・運営円滑化事業	810	813	△ 3	訓練支援物資の精査による減
敬老お祝い事業	301	358	△ 57	実績に基づく減
家族のための介護カウンセリング事業	450	450	0	
S C 高齢者安全対策分科会	389	389	0	
パラフェスタ♥さかえ	1,095	1,200	△ 105	実施方法変更による減
栄区障害理解推進事業	560	1,099	△ 539	リーフレット完成に伴う減
事業費合計	14,431	15,220	△ 789	

【根拠とするデータ等】

栄区高齢化率、要介護認定率

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害 係
	小田 淳	長戸 泰弘 平林 桂 小出 創	神野 文恵

(栄 区 - 11)

[栄 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	子育て支援 障害児・者	事業開始年度	平成10年度
------	-----------------------------	-------------	----------------	--------	--------

事業名
健やか子育て応援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	1
30	1

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,969					2,969
前年度	2,831					2,831
増△減	138	0	0	0	0	138

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	3,581	2,746	2,792	予算	事業費	2,959	2,959
	メリット+一般財源	3,581	2,746	2,792		一般財源	2,959	2,959
決算	事業費	2,606	2,709	2,362	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年 月) 無			
	メリット+一般財源	2,606	2,709	2,362				

事業の概要 (目的)	栄区で安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠・出産・子育てに関する情報発信や、妊娠中から産後の不安定な時期に必要な支援が受けられる相談体制の充実を図ります。また、養育者の不安解消と子どもたちの健全育成のために、育児不安や子育ての悩みや困難を抱える親に寄り添う支援の充実を図り、妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない子育て支援を行います。また、障害のある子どもの育ちを支え、障害のある子どもとその家族が安心して生活できるような支援を行います。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄区の出生数は平成24年で1,001人、平成30年で791人と年々減少し、少子化が急速に進展しています。子育てをする母親同士が交流する機会が減っており、身近な地域のなかで子育て中の養育者同士の仲間づくりができる環境を推進していく必要があります。 ・ 少子化の進行により、実生活のなかで乳幼児に接する機会が減っており、自分の子どもが生まれる前に赤ちゃんの世話をした経験がないまま親になる人も多く、子育てに自信をもてず、不安を感じる母親が多く存在しています。そのため、妊娠中から子育てに関する分かりやすい情報提供や教室等の開催により、母親の不安を解消できるような支援が必要です。また、次世代(中学生)に向け、赤ちゃんや子育てしている親と接する体験等の機会をつくり、交流することにより、他人を思いやる心などの豊かな人間性を育むとともに、家族と家庭の役割を学び、命の大切さについて考える機会が必要だと考えられます。 ・ 栄区の児童虐待対応件数は年々増加傾向にあり、虐待者の割合は実母が約7割を占めています。また虐待年齢別割合は未就学が約半数を占めており、乳幼児をもつ親に対する支援や、児童虐待の早期発見・支援のための身近な地域での見守りや子育て支援が重要です。 ・ 放課後等デイサービス事業者数が年々増加しており、障害のある子どもを取り巻く状況はここ数年で大きく変化しています。また障害のある子どもと家族の支援のニーズも多様化しています。障害のある子どもとその家族が地域で見守られながら安定した生活を送れるような地域社会の実現に向けた取り組みが求められています。 ・ 来庁者や訪問の対象者が安心して相談し、職員も安全に業務にあたる環境を整えるためにも、感染症拡大防止対策を講じる必要があります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	8 その他			
-------------	------------	-------	--	--	--

2 運営方針等との関係	<p>【令和2年度栄区運営方針】</p> <p>2 将来を見据えた持続可能なまちづくり セーフコミュニティ児童虐待予防対策分科会</p> <p>3 福祉保健・健康づくりの推進による安全・安心のまちづくり 未来をにう子どもたちを健やかに育むための取組を推進します 養育者の不安解消や仲間づくりを支援するため情報発信や教室の開催</p> <p>【第3期栄区地域福祉保健計画 さかえ・つながるプラン】</p> <p>テーマ3 地域を支える出産・子育てから青年期までの切れ目のない支援 テーマ6 障害者が安心して暮らせる地域づくり</p>
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	母子保健法、児童福祉法、発達障害者支援法、児童虐待の防止等に関する法律等
------------	--------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

養育者支援・育児の仲間づくり		29年度実績	30年度実績	R元年度実績	R2年度見込	R3年度見込
両親教室	参加組数	125	94	90	140	140
地域育児教室	参加組数	1,316	1,252	1,026	1,700	1,700
周産期メンタルヘルス事業		29年度実績	30年度実績	R元年度実績	R2年度見込	R3年度見込
授乳相談	利用組数	88	39	27	50	50
妊婦・養育者メンタルヘルス相談	利用者数	54	56	45	80	80
育児応援教室	参加組数	30	44	25	90	90

【実施内容】

1 養育者支援事業

(1) 両親教室 (224千円)

初めての出産を控えた妊婦とそのパートナーを対象に土曜日に両親教室を開催します。先輩ママパパを講師に招き、プレママプレパパとの交流を図り、出産後の生活についてイメージを持てるようにします。(年4回)

(2) SC児童虐待予防対策分科会(240千円)

さかえっ子の笑顔ひろげ隊(栄区セーフコミュニティ児童虐待予防対策分科会)の取組として、地域向けの児童虐待予防啓発活動や、次世代交流として中学生と乳児及び子育て中の母親との交流を行い、次世代を担う子どもたちの育成をします。また、児童虐待対応のスキルアップを目的に職員向け研修を実施します。

また、幼稚園・保育園等との連携を深め、児童虐待防止に関して迅速な対応を行なっていくよう、各園への出前講座を実施します。

(3) 養育者向け情報発信 (1,005千円)

父親の積極的な育児参加を促進するため、「パパの子育てノート(父子手帳)」の作成及び配布(680部)及び地域の子育て情報誌の作成及び配布(2,000部)を行います。

妊娠期から切れ目のない支援の実現のために、「栄区妊娠・出産・子育てマイカレンダー」の作成及び配布(900部)を行います。さらに乳幼児健診等で区役所を訪れた際、乳幼児期に抱えやすい子育ての悩みの解消を目的に「育児の一言アドバイス(仮)」の作成及び、配架をします。(500部)

2 育児の仲間づくり 地域育児教室 (619千円)

地域ケアプラザ等7会場で月1回、第1子の養育者と乳児を対象に教室を開催し、養育者同士の交流や仲間づくり、子育てに関する健康教育を行います。(7会場、月1回開催、年84回開催)

3 障害児支援事業 障害児サークル支援 (24千円)

ダウン症児を中心とした障害児の親の自主サークルに対して、講師派遣、運営相談等の支援を行います。(年3回講師派遣)

4 周産期メンタルヘルス事業

(1) 授乳相談 (120千円)

授乳に関する様々な相談に応じ、育児不安の早期解消を図ります。(月1回、年12回開催)

(2) 妊婦・養育者メンタルヘルス相談 (478千円)

妊娠や出産、人間関係等の様々な悩みを抱える妊婦や育児不安、育てにくさを感じる養育者等を対象に、臨床心理士による個別相談を実施します。

必要に応じて、訪問による相談にも対応します。(月2回、年24回開催)

(3) 育児応援教室 (259千円)

産婦健康診査、母子訪問等から把握された育児不安や子育て等に悩みを抱える母親に対して、母子で参加できる少人数の教室を開催します。臨床心理士が教室のファシリテーター役を担い、当事者同士の語らいのなかで悩みの解消を図ります。

また保健師や保育士による育児のアドバイスや助言を行います。(月1回、年12回開催)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
両親教室	224	224	0	
SC児童虐待予防対策分科会	240	180	60	消耗品購入のための増
養育者向け情報発信	1,005	945	60	事業拡充のための増
地域育児教室	619	601	18	隣接区と講師謝金基準を揃えたための増
障害児サークル支援	24	24	0	
授乳相談	120	120	0	
妊婦・養育者メンタルヘルス相談	478	478	0	
育児応援教室	259	259	0	
事業費合計	2,969	2,831	138	

【根拠とするデータ等】

横浜市人口動態調査・出生数(30年度)、横浜市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズ把握のための調査(25年度)、横浜市児童虐待対応件数(元年度)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	佐藤 一	広瀬 達也 山田 和哉	大嶋 彩華

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

No. 13

[栄 区 こども家庭支援 課]

予算区分	区役所総務費 子育て・子ども・青少年育成費	性質・ 課題区分	その他 子育て支援	事業開始年度	平成10年度
------	--------------------------	-------------	--------------	--------	--------

事業名
子ども・青少年応援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	4
24	3
28	1

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,725		5			1,720
前年度	2,472		5			2,467
増△減	△ 747	0	0	0	0	△ 747

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,895	2,311	2,810	予算	事業費	1,725	1,725
	メリット+一般財源	2,863	2,301	2,800		一般財源	1,725	1,725
決算	事業費	1,965	2,231	2,924	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	1,956	2,226	2,920				

事業の概要 (目的)	<p>市立保育園において実施している「地域に向いた子育て支援」について、地域に密着し、更なる充実を図ります。</p> <p>乳幼児から学齢期までの子どもの事故予防、けが予防を目的に、安全・安心に関する取組を推進します。</p> <p>また、スポーツ・文化の分野において、顕著な功績又は優秀な成績を収めた児童・生徒を対象に、その功績を称えることを目的として、区長による表彰を行います。</p>
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>・市立保育園において「地域に向いた子育て支援」を実施していますが、更なる利用者増を目指すため活動のPRを行う必要があります。</p> <p>・乳幼児期から学齢期まで、子どもたちが地域社会の中で健やかに成長するためには、養育者、地域、学校、行政機関等が連携して、見守りや関わりを継続的に行っていく必要があります。</p>														
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 3 地区担当制度 5 区民アンケート														
2 運営方針等との関係	<p>・令和2年度栄区運営方針 3 福祉保健・セーフコミュニティの推進</p> <p>・第3期栄区地域福祉保健計画【第2章 第3期「さかえ・つながるプラン」区計画テーマ3】</p> <p>・栄区セーフコミュニティ活動を推進するための行動計画 1 こどもの安全</p>														
3 根拠法令・要綱等	<p>・さかえ・つながるプラン</p> <p>・栄区防災計画</p> <p>・子ども・子育て支援事業計画</p> <p>・栄区児童生徒スポーツ・文化活動表彰要綱</p>														
【実績の推移・今後見込み】 栄区児童生徒スポーツ・文化活動表彰															
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和2年度見込</th> <th>令和3年度見込</th> <th>※個人及び団体</th> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>28</td> <td>37</td> <td>55</td> <td>30</td> <td>55</td> <td></td> </tr> </table>		29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	令和3年度見込	※個人及び団体	件数	28	37	55	30	55	
	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	令和3年度見込	※個人及び団体									
件数	28	37	55	30	55										

【実施内容】

- 1 幼保による地域子育て支援事業 (660千円)
 防災研修は、継続した実施が必要ですが、新型コロナウイルス感染症防止のため、実施方法を変え集合研修から希望する園に内部講師が出張して研修する形式に変更します。
 地域の子育て支援の内容の充実を図り、子育て支援に必要な保育教材等をそろえます。
 また、災害が発生した際に子どもたちや保護者の安全を確保するため、保護者向けの防災ポケットカードを増刷し、保育・教育施設に配付し啓発を行います。
- 2 SC子ども安全対策分科会 (865千円)
 セーフコミュニティ子ども安全対策分科会の活動を通じて、乳幼児の事故予防、児童のけが予防を目的とした訪問運動指導やKYT(危険予知トレーニング)など、子どもたちの安全・安心に関する取組を推進します。
 また、子育て世代のセーフコミュニティ認知度を上げるため、セーフコミュニティの活動内容等を掲載した連絡帳を増刷し、区内小学校の新1年生に配付します。
- 3 栄区児童生徒スポーツ・文化活動表彰 (200千円)
 スポーツ・文化の分野において、顕著な功績又は優秀な成績を収めた児童・生徒を対象に、その功績を称えることを目的として、区長による表彰を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
幼保による地域子育て支援事業	660	762	△ 102	報償費、消耗品費の減
SC子ども安全対策分科会	865	1,560	△ 695	SC連絡帳の委託料の減
栄区児童生徒スポーツ・文化活動表彰	200	150	50	令和元年度実績に基づく増
事業費合計	1,725	2,472	△ 747	

【根拠とするデータ等】

世代間交流実績(令和元年度)、栄区内の保育園、幼稚園、在園児童数、小学校、中学校、高等学校、放課後キッズクラブ、放課後児童クラブ、子ども会等子どもと関わりのある団体・施設数(令和2年度時点)

本資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	係
	大谷地 久美子 角野 智美	緒方 千絵 山崎 由佳	